



令和8年度 上水道事業 市道社環状線配水管新設工事

金抜設計書

工事番号 2026057800

工事名 令和8年度 上水道事業 市道社環状線配水管新設工事

施工場所 加東市社地内

兵庫県 加東市

総括情報表

単価適用年月日	00-08.04.01(0)		
工種区分 施工地域区分 前払区分 契約保証補正 週休2日補正 工事価格丸め	今 回 01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり (2) 02 補正なし 1.00 01 金銭的保証 08 完全週休2日 (土日) 01 万円丸め	前 回	

工 事 費 内 訳 書

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					
管路					
開削工					
管路土工 φ 150					
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	1,070	m			施工 第0 -0002号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒10cm越え 15cm以下 ;バック杓山積0.28m3	16	m2			施工 第0 -0003号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ;バック杓山積0.28m3	306	m2			施工 第0 -0005号内訳表
As殻運搬・処分 (アス殻掘削)	15	m3			施工 第0 -0006号内訳表
As切断汚泥運搬工		時間			施工 第0 -0010号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
As切断汚泥処分工 [汚泥] ; 投棄量1.7t	1	式			施工 第0 -0011号内訳表
掘削積込工 ; バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)	360	m3			施工 第0 -0012号内訳表
埋戻工(埋戻し材->再生切込碎石) ; バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)	300	m3			施工 第0 -0013号内訳表
土砂運搬・処分 (レキ質土)	360	m3			施工 第0 -0015号内訳表
フィルター層 t = 40mm以上60mm未満 洗砂	185	m2			施工 第0 -0018号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅: 1.8m 未満 仕上り厚15cm	120	m2			施工 第0 -0019号内訳表
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅: 1.8m 未満 仕上り厚15cm 1層目	16	m2			施工 第0 -0021号内訳表
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅: 1.8m 未満 仕上り厚15cm 2層目	16	m2			施工 第0 -0022号内訳表
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅: 1.8m 未満 仕上り厚15cm	5	m2			施工 第0 -0023号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0004/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	180	m2			施工 第0 -0024号内訳表
アスファルト舗装工 (人力) 粗粒度アスコン[再] (20) t=50mm 砂散布なし	16	m2			施工 第0 -0025号内訳表
アスファルト舗装工 (人力) 粗粒度アスコン[再] (20) t=50mm 砂散布なし	16	m2			施工 第0 -0028号内訳表
アスファルト舗装工 (人力) 密粒度アスコン[再] (13) t=50mm 砂散布なし	120	m2			施工 第0 -0029号内訳表
アスファルト舗装工 (人力) 密粒度アスコン[再] (13) t=50mm 砂散布なし	16	m2			施工 第0 -0030号内訳表
透水性アスファルト舗装 t = 50mm 一般・4t以下乗入部->開粒度As (13)	5	m2			施工 第0 -0031号内訳表
透水性アスファルト舗装 t = 30mm 一般・4t以下乗入部->開粒度As (13)	180	m2			施工 第0 -0032号内訳表
鋳鉄管布設工 φ150					
管材費 φ150	1	式			代価 第0001号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0005/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
その他材料費 φ150	1	式			代価 第0002号内訳表
鋳鉄管吊込み据付 (機械力) 呼び径 150mm	536.3	m			施工 第0 -0033号内訳表
鋳鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター) ダクタイル鋳鉄管 呼び径150mm	11	口			施工 第0 -0035号内訳表
G X継手接合(呼び径 150mm) 直管	107	口			施工 第0 -0036号内訳表
G X継手接合(呼び径 150mm) G-Linkの接合	13	口			施工 第0 -0037号内訳表
G X継手接合(呼び径 150mm) 異形管	9	口			施工 第0 -0038号内訳表
G X継手接合(呼び径 100mm) 異形管	1	口			施工 第0 -0039号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 150mm	1	基			施工 第0 -0040号内訳表
仕切弁室設置工 円形1号 d=1.0m	1	箇所			施工 第0 -0041号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0006/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ホリシールド被覆(呼び径 150mm)	536.3	m			施工 第0 -0048号内訳表
管明示シート工	536.3	m			施工 第0 -0049号内訳表
管明示テープ工(鋳鉄管布設工) 呼び径150mm×5000mm	536.3	m			施工 第0 -0050号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) ダクタイル鋳鉄管 呼び径150mm	1	口			施工 第0 -0051号内訳表
鋳鉄管吊込み撤去(機械力) 呼び径 150mm	2.6	m			施工 第0 -0052号内訳表
メカニカル継手 取外し(呼び径 150mm) 継手: K形 特殊押輪補正なし	1	口			施工 第0 -0053号内訳表
車止めポスト撤去	1	本			施工 第0 -0054号内訳表
車止めポスト設置 作業区分→	1	本			施工 第0 -0055号内訳表
管路土工φ75					

工 事 費 内 訳 書

頁0-0007/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	2	m			施工 第0 -0002号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ;バックホウ山積0.28m3	1	m2			施工 第0 -0005号内訳表
As殻運搬・処分 (アス殻掘削)	0.1	m3			施工 第0 -0006号内訳表
掘削積込工 ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.5	m3			施工 第0 -0012号内訳表
床掘り 土砂 現場制約あり	0.5	m3			施工 第0 -0056号内訳表
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石) ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.9	m3			施工 第0 -0013号内訳表
土砂運搬・処分 (レキ質土)	1	m3			施工 第0 -0015号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚15cm	1	m2			施工 第0 -0019号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコン[再](13) t=50mm 砂散布なし	1	m2			施工 第0 -0029号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0008/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄管布設工 φ75					
管材費 φ75	1	式			代価 第0003号内訳表
その他材料費 φ75	1	式			代価 第0004号内訳表
G X継手接合(呼び径 75mm) G-Linkの接合	1	口			施工 第0 -0057号内訳表
G X継手接合(呼び径 75mm) 異形管	1	口			施工 第0 -0058号内訳表
不断水連絡工(φ75mm×φ75mm)	1	箇所			施工 第0 -0059号内訳表
密着コア(SUS7°ツシュ)挿入工 φ75	1	箇所			
仕切弁室設置工 円形1号 d=0.8m	1	箇所			施工 第0 -0060号内訳表
管路土工 φ50					

工 事 費 内 訳 書

頁0-0009/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	5	m			施工 第0 -0002号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ;バックホウ山積0.28m3	1	m2			施工 第0 -0005号内訳表
As殻運搬・処分 (アス殻掘削)	0.1	m3			施工 第0 -0006号内訳表
掘削積込工 ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	1	m3			施工 第0 -0012号内訳表
埋戻工(埋戻し材→再生切込砕石) ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.5	m3			施工 第0 -0013号内訳表
埋戻工(埋戻し材→スクリーンガス) ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.4	m3			施工 第0 -0061号内訳表
土砂運搬・処分 (レキ質土)	1	m3			施工 第0 -0015号内訳表
フィルター層 t = 40mm以上60mm未満 洗砂	1	m2			施工 第0 -0018号内訳表
路盤工(再生切込砕石) 上層路盤 施工幅: 1.8m 未満 仕上り厚10cm	1	m2			施工 第0 -0024号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0010/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
透水性アスファルト舗装 t = 30mm 一般・4t以下乗入部→開粒度As(13)	1	m ²			施工 第0 -0032号内訳表
管布設工 φ50					
管材費 φ50	1	式			代価 第0005号内訳表
その他材料費 φ50	1	式			代価 第0006号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 50mm	1.3	m			施工 第0 -0062号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径50mm	2	口			施工 第0 -0063号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径 50mm	4	口			施工 第0 -0064号内訳表
ボール分水栓建込(鋳鉄管 呼び径 75~150mm) 配水管呼び径 50mm	1	箇所			施工 第0 -0065号内訳表
コア取付け工(φ13mm~50mm)	1	箇所			施工 第0 -0066号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0011/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
止水栓 取付 (呼び径50mm) 止水栓のみ P P 用	1	箇所			施工 第0 -0067号内訳表
仕切弁室設置工 円形1号 d=1.0m	1	箇所			施工 第0 -0041号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径 50mm	1.9	m			施工 第0 -0068号内訳表
硬質塩化ビニル管(新設管)切断工 φ 50mm	3	口			施工 第0 -0069号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 50mm)	6	口			施工 第0 -0070号内訳表
管明示シート工	3.2	m			施工 第0 -0049号内訳表
消火栓設置工					
消火栓材料費	1	式			代価 第0007号内訳表
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工 フランジ 接合1口含む	2	箇所			施工 第0 -0071号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0012/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
消火栓室設置工 円形3号 d=1.0m	2	箇所			施工 第0 -0072号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) J WWA 7.5K	4	口			施工 第0 -0078号内訳表
給水管土工					
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	3	m			施工 第0 -0002号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ;バックホウ山積0.28m3	1	m2			施工 第0 -0005号内訳表
As殻運搬・処分 (アス殻掘削)	0.1	m3			施工 第0 -0006号内訳表
掘削積込工 ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.7	m3			施工 第0 -0012号内訳表
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石) ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.5	m3			施工 第0 -0013号内訳表
埋戻工(埋戻し材→スクリーンガス) ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.1	m3			施工 第0 -0061号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0013/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂運搬・処分 (レキ質土)	0.7	m3			施工 第0 -0015号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚15cm	0.9	m2			施工 第0 -0019号内訳表
アスファルト舗装工 (人力) 密粒度アスコン[再] (13) t=50mm 砂散布なし	0.9	m2			施工 第0 -0029号内訳表
管布設工 (給水)					
管材費 (本設給水管)	1	式			代価 第0008号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 20mm	0.5	m			施工 第0 -0079号内訳表
バルブ分水栓建込(鋳鉄管 呼び径 75~150mm) 配水管呼び径 20mm	1	箇所			施工 第0 -0080号内訳表
コア取付け工(φ13mm~50mm)	1	箇所			施工 第0 -0066号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径20mm	1	口			施工 第0 -0081号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0014/0109

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管継手工 呼び径 20mm	3		口			施工 第0 -0082号内訳表
鋼管小口径管ねじ込み接合 呼び径 25mm	1		口			施工 第0 -0083号内訳表
鋼管継手取外し工 呼び径 25mm	1		口			施工 第0 -0084号内訳表
仮設工						
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員 B	99		人日			施工 第0 -0085号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						

工 事 費 内 訳 書

頁0-0015/0109

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技術管理費					
通水試験費		式			
通水試験工 既設管と連絡して給水車不要	1.0	日			施工 第0 -0086号内訳表
共通仮設費率分		式			
純工事費計					
現場管理費		式			
工事原価計					
一般管理費等		式			
スクラップ控除		式			

管材費φ150

代 価 表

代価 第0001号内訳表

頁0-0017/0109

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
DCIP-GX形 直管 1種 φ 1 5 0	107	本			K 管材費
DCIP-GX形 受挿片落ち管 φ 1 5 0 × 1 0 0	1	個			K 管材費
DCIP-GX形 受挿片落ち管 φ 1 0 0 × 7 5	1	個			K 管材費
DCIP-GX形 4 5° 曲管	6	個			K 管材費
DCIP-GX形 2 2° 1 / 2 曲管	2	個			K 管材費
DCIP-GX形 4 5° 両受曲管	2	個			K 管材費
DCIP-GX形 2 2° 1 / 2 両受曲管	2	個			K 管材費
DCIP-GX形 継輪	1	個			K 管材費
DCIP-GX形 ソフトシール仕切弁 受口・挿し口タイプ	1	個			K 管材費

管材費φ150

代 価 表

代価 第0001号内訳表

頁0-0018/0109

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
G-Linkセット φ150	13	組			K 管材費
接合セット φ150	9	個			K 管材費
接合セット φ100	1	個			K 管材費
ライナ φ150	10	個			K 管材費
DCIP-GX形 F付丁字管(浅埋) φ150×75	2	個			K 管材費
単 位 当 り	1	式			

代 価 表

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
不断水丁字管φ75×φ75 耐震型K形挿し口付	1	基			K 管材費
密着コア(SUS7°ツェ) φ75	1	基			K 管材費
DCIP-GX形 両受短管 φ75	1	個			K 管材費
G-Linkセット φ75	1	組			K 管材費
接合セット φ75	1	個			K 管材費
単 位 当 り	1	式			

管材費φ50

代 価 表

代価 第0005号内訳表

頁0-0022/0109

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管 φ 5 0	1.3	m			K 管材費
PE90° エルボ φ 5 0	1	個			K 管材費
PE分止水栓用ソケット φ 5 0	1	個			K 管材費
サドル分水栓 φ 150×50 DCIP用	1	個			K 管材費
密着コア φ 5 0	1	個			K 管材費
PEおねじソケット φ 5 0	1	個			K 管材費
スリースバルブ φ 5 0	1	個			K 管材費
バルブソケット(HI) φ 5 0	1	個			K 管材費
HIVP-TS 直管 φ 50×4000L	1	本			K 管材費

消火栓材料費

代 価 表

代価 第0007号内訳表

頁0-0025/0109

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地下式単口消火栓 FCD φ75 7.5K	2	基			K 管材費
ボール式補修弁 φ75×100H	2	個			K 管材費
フランジ短管 φ75×300H	2	個			K 管材費
フランジ継手材 φ75 GF形 ボルト・ナット付	4	組			K 管材費
フランジ継手材 φ75 RF形 ボルト・ナット付	2	組			K 管材費
消火栓弁ボックス d=1.0m(0.8) 円形3号	2	組			
単 位 当 り	1	式			

管材費 (本設給水管)

代 価 表

代価 第0008号内訳表

頁0-0026/0109

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管 φ 20	0.5	m			K 管材費
PE分止水栓用ワット φ 20	1	個			K 管材費
サドル分水栓 φ 150×20 DCIP用	1	個			K 管材費
密着コア φ 20	1	個			K 管材費
PEワット φ 20	1	個			K 管材費
分水栓用閉栓キャップ φ 25 既設分水閉栓用	1	個			K 管材費
単 位 当 り	1	式			

積算単価算出表

舗装版切断(アスファルト舗装版)

[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0002号内訳表

頁0-0028/0109

1 m 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員 週休2日対象			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
R3	普通作業員			普通作業員 週休2日対象			
R							
Z1	コンクリートカッタ(フレート) 径18インチ			舗装版切断 カッターフレート 径18インチ			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別	=1	アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1	15cm以下				

施工単価表

施工 第0 -0013号内訳表

頁0-0037/0109

埋戻工（埋戻し材->再生切込砕石）

[規格1]

[規格2]

[摘要]

100

m3

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 週休2日対象		人			
普通作業員 週休2日対象		人			
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
タンク運転 (賃料)		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=5 =3	再生切込砕石 バックホ 山積0.28m3 (平積0.2m3)		

積算単価算出表

フィルター層

[規格1] t = 40mm以上60mm未満

[規格2] 洗砂

[摘要]

施工 第0 -0018号内訳表

頁0-0041/0109

1
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	小型バックホウ(クロー型)山積0.11m3(平積0.09m3) [後方超小旋回型・超低騒音型・排ガス(3次)]			小型バックホウ(クロー型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排ガス(3次)] 0.11/0.09m3			
K2	振動ロー(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンパクト式] 排出ガス対策型含			振動ロー(排出ガス対策型含) 搭乗式コンパクト型 3~4t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊) 週休2日対象			
R2	特殊作業員			特殊作業員 週休2日対象			
R3	普通作業員			普通作業員 週休2日対象			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
R							
Z1	砂 再生砂			砂 洗砂			
Z2	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			

施工単価表

施工 第0 -0025号内訳表

頁0-0048/0109

アスファルト舗装工 (人力)

[規格1] 粗粒度アスコン[再] (20) t=50mm

[規格2] 砂散布なし

[摘要]

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 週休2日対象		人			12
特殊作業員 週休2日対象		人			12
普通作業員 週休2日対象		人			12
再生粗粒度アスコン TOP20		t			
アスファルト乳剤 PK-3 (プライムコート用)		L			
振動ローラ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=4	粗粒度アスコン[再] (20)		
B 仕上り厚 (mm)		=50	仕上り厚 (mm)		
C 瀝青材の種類		=2	プライムコート		
D 砂散布の有無		=1	なし		
E 歩車道区分		=1	車道及び路肩		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

施工単価表

施工 第0 -0028号内訳表

頁0-0049/0109

アスファルト舗装工 (人力)

[規格1]粗粒度アスコン[再](20) t=50mm

[規格2]砂散布なし

[摘要]

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					12
特殊作業員		人			
週休2日対象					12
普通作業員		人			
週休2日対象					12
再生粗粒度アスコン TOP20		t			
アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)		L			
振動ローラ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=4	粗粒度アスコン[再](20)		
B 仕上り厚(mm)		=50	仕上り厚(mm)		
C 瀝青材の種類		=1	タックコート		
D 砂散布の有無		=1	なし		
E 歩車道区分		=1	車道及び路肩		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

施工単価表

施工 第0 -0029号内訳表

頁0-0050/0109

アスファルト舗装工 (人力)

[規格1] 密粒度アスコン[再](13) t=50mm

[規格2] 砂散布なし

[摘要]

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 週休2日対象		人			12
特殊作業員 週休2日対象		人			12
普通作業員 週休2日対象		人			12
再生密粒度アスコン TOP13		t			
アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)		L			
振動ローラ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=10	密粒度アスコン[再](13)		
B 仕上り厚(mm)		=50	仕上り厚(mm)		
C 瀝青材の種類		=2	プライムコート		
D 砂散布の有無		=1	なし		
E 歩車道区分		=1	車道及び路肩		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

施工単価表

施工 第0 -0030号内訳表

頁0-0051/0109

アスファルト舗装工 (人力)

[規格1] 密粒度アスコン[再](13) t=50mm

[規格2] 砂散布なし

[摘要]

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					12
特殊作業員		人			
週休2日対象					12
普通作業員		人			
週休2日対象					12
再生密粒度アスコン TOP13		t			
アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)		L			
振動ローラ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=10	密粒度アスコン[再](13)		
B 仕上り厚(mm)		=50	仕上り厚(mm)		
C 瀝青材の種類		=1	タックコート		
D 砂散布の有無		=1	なし		
E 歩車道区分		=1	車道及び路肩		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

積算単価算出表

透水性アスファルト舗装

[規格1] t = 50mm

[規格2] 一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)

[摘要]

施工 第0 -0031号内訳表

頁0-0052/0109

1 m2 当り

標準単価		代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイト式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイト式] 0.5~0.6t			
	K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
	K							
	R1	特殊作業員			特殊作業員 週休2日対象			
	R2	普通作業員			普通作業員 週休2日対象			
	R3	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
	R							
	Z1	開粒度アスコン TOP13 t=40mm			開粒度アスコン(ストレートAS新規材) TOP13			
	Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
	Z3	軽油 パトロール給油			軽油			
	Z							
					計			

積算単価算出表

透水性アスファルト舗装

[規格1] t = 30mm

[規格2] 一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)

[摘要]

施工 第0 -0032号内訳表

頁0-0054/0109

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイト式]			振動ローラ(舗装用) [ハンドガイト式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員 週休2日対象			
R2	普通作業員			普通作業員 週休2日対象			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
R							
Z1	開粒度アスコン TOP13 t=40mm			開粒度アスコン(ストレートAS新規材) TOP13			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z3	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			

施工単価表

施工 第0 -0061号内訳表

頁0-0083/0109

埋戻工（埋戻し材→スクリーニングス）

[規格1]

[規格2]

[摘要]

100

m3

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 週休2日対象		人			
普通作業員 週休2日対象		人			
スクリーニングス (0～2.5mm)		m3			
バックホ運転		時間			
タンパ 運転 (賃料)		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=6 =3			スクリーニングス バックホ 山積0.28m3 (平積0.2m3)

数量総括表

工事名	令和8年度 上水道事業 市道社環状線配水管新設管工事		事業区分		水道施設工事		
			工事区分	管路	単位	摘要	
工種・種別・細目			算式		数量	単位	摘要
本工事費							
管路							
開削工							
管路土工 (配水管φ150)							
	舗装版切断 (アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cm以下	1073.20	= 1073.20	1,070	m	
	舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒10cm越え 15cm以下	16.32	= 16.32	16	m ²	
	舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	305.64	= 305.64	306	m ²	
	残塊運搬工・処分費	アスファルト殻 ダンプトラック(4t積) L=10.6km	14.73	= 14.73	15	m ³	大林道路
	As切断汚泥運搬工	普通トラック(2t積) 運搬距離11.9km	0.3	= 0.3	0.3	時間	
	As切断汚泥処分工	普通トラック(2t積)			1	式	処分量 1.7t
	掘削積込工	バックホウ 山積0.28m ³	357.91	= 357.91	360	m ³	
	埋戻工 (埋戻し材→再生切込砕石)	バックホウ 山積0.28m ³	296.15	= 296.20	300	m ³	
	残土運搬工・処分費	土砂 ダンプトラック(4t積) L=5.6km	357.91	= 357.91	360	m ³	
	フィルター層 (砂)	バックホウ 山積0.28m ³ 仕上り厚5cm	185.22	= 185.20	185	m ²	
	路盤工 (粒調砕石)	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚15cm	120.42	= 120.42	120	m ²	
	路盤工 (再生砕石)	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚30cm	16.32	= 16.32	16	m ²	全2層
	路盤工 (再生砕石)	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚15cm	5.16	= 5.16	5	m ²	
	路盤工 (再生砕石)	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚10cm	180.06	= 180.06	180	m ²	
	表層 (車道・路肩部)	t=50mmプライムコート 粗粒度アスコン[再](20)	16.32	= 16.32	16	m ²	
	表層 (車道・路肩部)	t=50mmタックコート 粗粒度アスコン[再](20)	16.32	= 16.32	16	m ²	
	表層 (車道・路肩部)	t=50mmプライムコート 密粒度アスコン[再](13)	120.42	= 120.42	120	m ²	
	表層 (車道・路肩部)	t=50mmタックコート 密粒度アスコン[再](13)	16.32	= 16.32	16	m ²	
	表層 (歩道・乗入部)	t=50mm 開粒度アスコン(13)	5.16	= 5.16	5	m ²	
	表層 (歩道・乗入部)	t=30mm 開粒度アスコン(13)	180.06	= 180.06	180	m ²	
管布設工 (配水管φ150)							
	管材費 (φ150)		1	= 1	1	式	
	その他材料費 (φ150)		1	= 1	1	式	
	铸铁管吊込み据付工 (機械力)	呼び径 150mm	536.3	= 536.3	536.3	m	
	铸铁管(新設管)切断工 (エンジンカッター)	ダブタイ铸铁管 呼び径 150mm	11	= 11	11	口	
	GX継手接合 (呼び径 150mm)	直管	107	= 107	107	口	
	GX継手接合 (呼び径 150mm)	G-Linkの接合	13	= 13	13	口	
	GX継手接合 (呼び径 150mm)	異形管	9	= 9	9	口	
	GX継手接合 (呼び径 100mm)	異形管	1	= 1	1	口	
	铸铁製仕切弁 (機械力)設置	縦型仕切弁 呼び径 150mm	1	= 1	1	基	
	仕切弁室設置工	円形1号 内径250 d=1.0m	1	= 1	1	箇所	
	ポリエチレンスリーブ被覆 (呼び径 150mm)		536.3	= 536.3	536.3	m	
	管明示シート工		536.3	= 536.30	536.3	m	
	管明示テープ工 (铸铁管布設工)	呼び径 150mm×5000mm	536.3	= 536.3	536.3	m	
	铸铁管(既設管)切断工 (エンジンカッター)	呼び径 150mm	1	= 1	1	口	
	铸铁管撤去工	呼び径 150mm	2.6	= 2.6	2.6	m	
	カマカ継手取外し工 (呼び径 150mm)	継手:K形 特殊押輪補正なし	1	= 1	1	口	

数量総括表

工事名	令和8年度 上水道事業 市道社環状線配水管新設管工事		事業区分	水道施設工事		
			工事区分	管路		
工種・種別・細目			算式	数量	単位	摘要
	車止め撤去・復旧工	(既設を流用)				
			1	=	1	本
	管路土工 (配水管φ75)					
	舗装版切断 (アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	2.00	=	2.00	2 m
	舗装版取壊し積込工	舗装厚=>0cm越え 10cm以下	1.10	=	1.10	1 m2
	残塊運搬工・処分費	アスファルト殻 ダンプトラック(4t積) L=10.6km	0.06	=	0.06	0.1 m3
	掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3	0.50	=	0.50	0.5 m3
	人力掘削工		0.53	=	0.53	0.5 m3
	埋戻工 (埋戻し材->再生切込砕石)	バックホウ 山積0.28m3	0.86	=	0.90	0.9 m3
	残土運搬工・処分費	土砂 ダンプトラック(4t積) L=5.6km	1.03	=	1.03	1 m3
	路盤工 (粒調砕石)	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚15cm	1.10	=	1.10	1 m2
	表層 (車道・路肩部)	t=50mmプライムコート 密粒度アスコン[再](13)	1.10	=	1.10	1 m2
	管布設工 (配水管φ75)					
	配水管φ75 管材費		1	=	1	1 式
	配水管φ75 その他材料費		1	=	1	1 式
	GX継手接合 (呼び径 75mm)	G-Linkの接合	1	=	1	1 口
	GX継手接合 (呼び径 75mm)	異形管	1	=	1	1 口
	不断水連絡工 (75mm×75mm)	DCIP用 耐震K形挿し口付 コア設置含む	1	=	1	1 箇所
	仕切弁室設置工	円形1号 d=0.8m	1	=	1	1 箇所
	管路土工 (ドレンφ50)					
	舗装版切断 (アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	4.80	=	4.80	5 m
	舗装版取壊し積込工	舗装厚=>0cm越え 10cm以下	1.44	=	1.44	1 m2
	残塊運搬工・処分費	アスファルト殻 ダンプトラック(4t積) L=10.6km	0.05	=	0.05	0.1 m3
	掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3	1.06	=	1.06	1 m3
	埋戻工 (埋戻し材->再生切込砕石)	バックホウ 山積0.28m3	0.46	=	0.50	0.5 m3
	埋戻工 (埋戻し材->スクリーニングス)	バックホウ 山積0.28m3	0.36	=	0.40	0.4 m3
	残土運搬工・処分費	土砂 ダンプトラック(4t積) L=5.6km	1.06	=	1.06	1 m3
	フィルター層 (砂)	バックホウ 山積0.28m3 仕上り厚5cm	1.44	=	1.40	1 m2
	路盤工 (再生砕石)	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚10cm	1.44	=	1.44	1 m2
	表層 (車道・路肩部)	t=30mm 開粒度アスコン[再](13)	1.44	=	1.44	1 m2
	管布設工 (ドレンφ50)					
	管材費 (φ50)		1	=	1	1 式
	その他材料費 (φ50)		1	=	1	1 式
	ポリエチレン管据付工	呼び径 50mm	1.3	=	1.3	1.3 m
	ポリエチレン管切断工	呼び径 50mm	2	=	2	2 口
	ポリエチレン管継手工	呼び径 50mm	4	=	4	4 口
	サドル分水栓建込工 (铸铁管管 呼び径 150mm)	呼び径 50mm	1	=	1	1 箇所
	コア取付工	呼び径 50mm	1	=	1	1 箇所
	止水栓取付け工	呼び径 50mmPP用 継手工含む・ボックス設置含まず	1	=	1	1 箇所
	仕切弁室設置工	円形1号 d=1.0m	1	=	1	1 箇所
	塩ビ管据付	呼び径 50mm	1.9	=	1.9	1.9 m
	塩ビ管切断工	呼び径 50mm	3	=	3	3 口

数量総括表

工 事 名	令和8年度 上水道事業 市道社環状線配水管新設管工事		事業区分		水道施設工事		
			工事区分	管路			
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目			算 式		数 量	単 位	摘 要
	塩ビ管継手工	呼び径 50mm TS	6	=	6	6	口
	管明示シート工		3.2	=	3.2	3.2	m
	消火栓設置工						
	管材費 (消火栓)		1	=	1	1	式
	消火栓設置 呼び径 75mm	フランジ 接合1口含む	2	=	2	2	基
	消火栓室設置工	円形3号 内径500 d=1.0m	2	=	2	2	箇所
	フランジ継手工	呼び径 75mm 7.5K	4	=	4	4	口
	管路土工 (給水管)						
	舗装版切断 (アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cm以下	3.00	=	3.00	3	m
	舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	0.90	=	0.90	1	m2
	残塊運搬工・処分費	アスファルト敷 ダンプトラック(4t積) L=10.6 km	0.05	=	0.05	0.1	m3
	掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3	0.65	=	0.65	0.7	m3
	埋戻工 (埋戻し材→再生切込砕石)	バックホウ 山積0.28m3	0.45	=	0.45	0.5	m3
	埋戻工 (埋戻し材→スクリーンガス)	バックホウ 山積0.28m3	0.06	=	0.06	0.1	m3
	残土運搬工・処分費	土砂 ダンプトラック(4t積) L=5.6km	0.65	=	0.65	0.7	m3
	路盤工 (粒調砕石)	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚15cm	0.90	=	0.90	0.9	m2
	表層 (車道・路肩部)	t=50mmプライムコート 密粒度アスコン[再] (13)	0.90	=	0.90	0.9	m2
	管布設工 (給水管)						
	本設給水管 管材費		1	=	1	1	式
	ポリエチレン管据付工	呼び径 20mm	0.5	=	0.5	0.5	m
	メタル分水栓建込工 (铸铁管 呼び径 150mm)	給水管呼び径 20mm	1	=	1	1	箇所
	コア取付工	呼び径 20mm	1	=	1	1	箇所
	ポリエチレン管(新設管)切断工	呼び径 20mm	1	=	1	1	口
	ポリエチレン管継手工	呼び径 20mm	3	=	3	3	口
	鋼管継手工	呼び径 25mm ネジ込み	1	=	1	1	口
	既設鋼管継手取外し工	呼び径 25mm ネジ込み	1	=	1	1	口 設置の30%
	仮設工						
	仮設工						
	交通管理工						
	交通誘導警備員B		99	=	99	99	人
	技術管理費						
	通水試験費						
	通水試験工	500m~2000m/日	537.0 / 537.0	=	1.0	1.0	日 実務必携P127
	スクラップ控除						
	スクラップ控除費						
	鉄屑	鉄屑B	0.24	=	0.24	0.2	t

配 水 管 布 設 工 事

上段：変更前

下段：変更後

(DCIP φ 150)

配管材料数量表

NO. 1

名称	形状・寸法	単位長	単位	A-2	A-3	A-4	A-5			合計	摘要
DCIP 直管	GX形1種 φ 150×5000L	5.000	本	29	27	26	19			101	
DCIP 直管	GX形1種 φ 150×5000L		m	4.76	3.73	6.53	9.46			6	切管用(6本) 切管調書より
受挿片落管	GX形内粉 φ 150×φ 100	0.410	個	1						1	
受挿片落管	GX形内粉 φ 100×φ 75	0.410	個	1						1	
DCIP 曲管	GX形内粉 φ 150×45°	0.464	個		4	1	1			6	
DCIP 曲管	GX形内粉 φ 150×22 1/2°	0.409	個	2						2	
DCIP 両受曲管	GX形内粉 φ 150×45°	0.194	個			1	1			2	
DCIP 両受曲管	GX形内粉 φ 150×22 1/2°	0.139	個				2			2	
DCIP 継輪	GX形内粉 φ 150	0.240	個				1			1	
ソトシル仕切弁	GX形受挿し φ 150	0.550	個				1			1	
G-Linkセット	φ 150		組	2	2	2	7			13	
接続部材	GX形 φ 150		個	1	3	2	3			9	
接続部材	GX形 φ 100		個	1						1	
ラケ	GX形 φ 150	0.039	個	2	3	2	3			10	
DCIP F付丁字管	GX形内粉(浅埋用) φ 150×φ 75	0.530	個		1	1				2	
仕切弁ボックス	円形1号 d=1.0m		組				1			1	
ホリエチレンスリーブ	固定バンド含む φ 150		m	151.5	141.2	137.8	105.8			536.3	
埋設標識シート	W150		m	151.5	141.2	137.8	105.8			536.3	
管明示テープ	DCIP φ 150		m	97.0	90.4	88.2	67.7			343.3	管延長×0.64
管延長	(DCIP φ 150)		m	151.5	141.2	137.8	105.8			536.3	
仕切弁延長	(DCIP φ 150)		m				0.6			0.6	
総延長	(DCIP φ 150)		m	151.5	141.2	137.8	106.3			536.8	

切 管 調 書

DCIP-GX φ 150 L= 5.00 m

NO. 3

番号	甲 切 管	乙 切 管	使用長 (m)	残管長 (m)	切断 溝切	切断	G-Link
1	GX $\frac{2.99}{A-2}$ G	G $\frac{1.20}{A-5}$ GX	4.190	0.810		2	2
2	GX $\frac{1.77}{A-2}$ G	G $\frac{1.80}{A-5}$ GX	3.570	1.430		2	2
3	GX $\frac{1.50}{A-3}$ G	G $\frac{1.00}{A-5}$ G G $\frac{1.00}{A-5}$ GX	3.500	1.500		3	4
4	GX $\frac{2.23}{A-3}$ G	G $\frac{1.83}{A-4}$ GX	4.060	0.940		2	2
5	GX $\frac{4.70}{A-4}$ G		4.700	0.300		1	1
6	GX $\frac{4.46}{A-5}$ G		4.460	0.540		1	1
(本)	甲切管計	乙切管計	(m)	(m)	(口)	(口)	(個)
6	17.65 m	6.83 m	24.48	5.52	11.00	12.00	

(DCIP φ75)

配管材料数量表

NO.1

上段：変更前

下段：変更後

名称	形状・寸法	単位長	単位	A-1						合計	摘要
ソフトシール仕切弁付 不断水丁字管	DCIP用 耐震型K形挿し口付 φ75×φ75 コア含む	0.695	基	1						1	
DCIP 両受短管	GX形内粉 φ75	0.020	個	1						1	
G-Linkセット	φ75		組	1						1	
接続部材	GX形 φ75		個	1						1	
仕切弁ボックス	円形1号 d=0.8m		組	1						1	
ポリエチレンスリーブ	固定バンド含む φ75		m	-						-	不断水T字控除
埋設標識シート	W150		m	-						-	不断水T字控除
管明示テープ	φ75		m	-						-	不断水T字控除
管延長	(DCIP φ75)		m	-						-	
仕切弁延長	(DCIP φ75)		m	0.7						0.7	
総延長	(DCIP φ75)		m	0.7						0.7	

(PE・HIVPφ50)ドレン

配管材料数量表

NO.1

上段：変更前

下段：変更後

名称	形状・寸法	単位	単位	B-1	B-2					合計	摘要
ポリエチレン管	φ50		m	1.30						1.30	0.6+0.7
PEエルボ	φ50×90°		個	1						1	
PE分止水栓用ソケット	φ50		個	1						1	
ナール分水栓	DCIP用ナール式(密着コア) φ150×φ50		個	1						1	
PEおねじソケット	φ50		個	1						1	
スリースバルブ	φ50		個	1						1	
バルブソケット	φ50		個	1						1	
HIVP-TS 直管	φ50		m		1.92					1.92	0.55+0.77+0.60
HIVP-TS エルボ	φ50×90°		個		2					2	
HIVP-TS ソケット	φ50		個		1					1	
			個								
			個								
仕切弁BOX	φ50 d=1.0m(排泥弁)		組		1					1	
埋設標識シート	W150		m	1.3	1.9					3.2	
管延長	PEφ50		m	1.3						1.3	
総延長	PEφ50		m	1.3						1.3	
管延長	HIVPφ50		m		1.9					1.9	
総延長	HIVPφ50		m		1.9					1.9	

切 管 調 書

(PE φ50) ドレン L= 5.00 m

NO. 3

番号		乙 切 管			使用長 (m)	残管長 (m)	切断 溝切	切断	
1	——	$\frac{0.60}{P1}$	$\frac{0.70}{P2}$	——	1.300	3.700		2	
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
(本)		乙切管計			(m)	(m)	(口)	(口)	(個)
1	m	1.30 m			1.30	3.70	2.00		

切 管 調 書

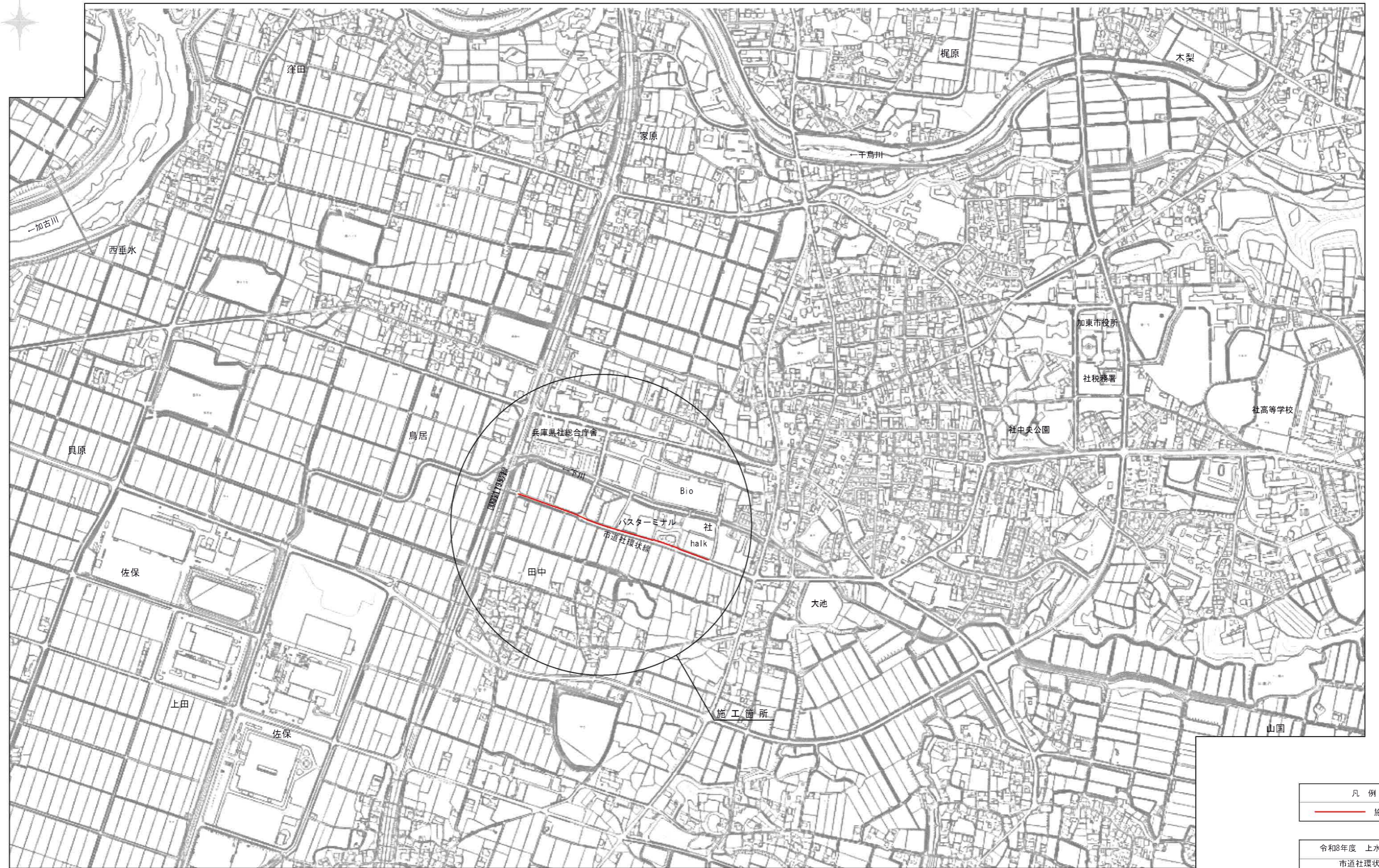
(HIVP φ50) ドレン L= 4.00 m

NO. 4

番号		乙 切 管			使用長 (m)	残管長 (m)	切断 溝切	切断	
1	———	$\frac{0.55}{V1}$	$\frac{0.77}{V2}$	$\frac{0.60}{V3}$	1.920	2.080		3	
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
	———	———	———	———					
(本)	甲切管計	乙切管計			(m)	(m)	(口)	(口)	(個)
1	m	1.92 m			1.92	2.08		3.00	

給水管布設工事

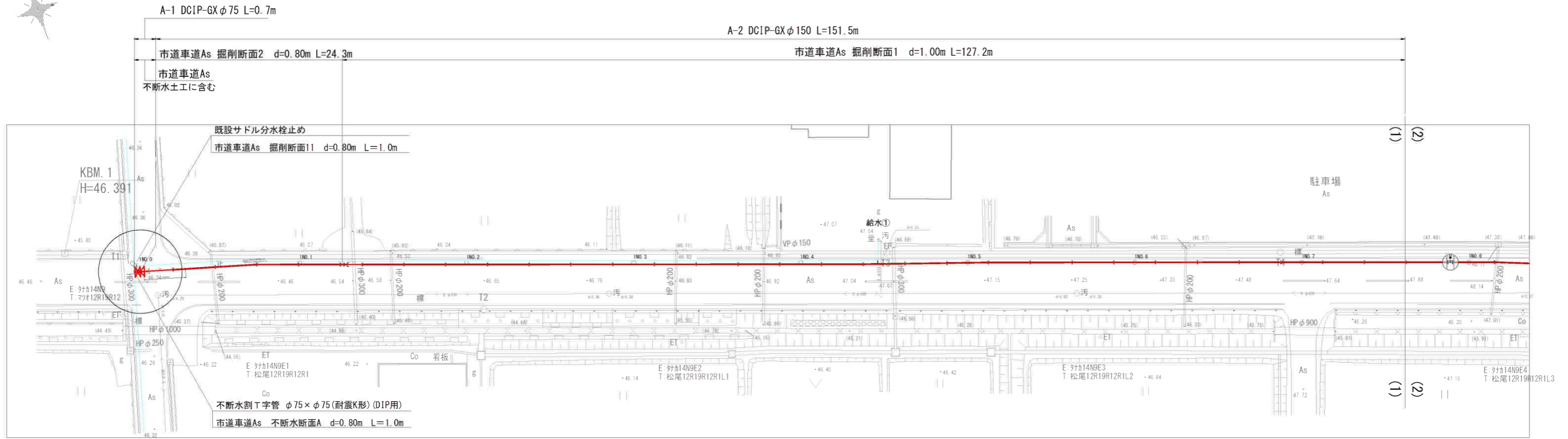
位置図 S=1/5000



凡例	
	施工範囲

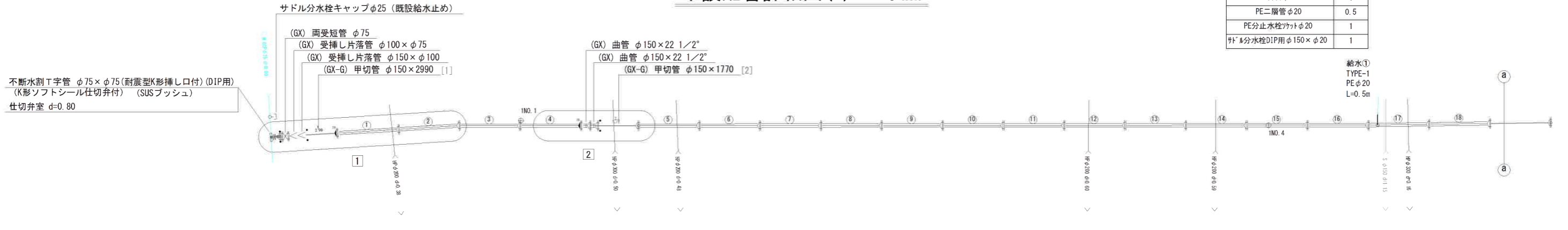
令和8年度 上水道事業	
市道社環状線 配水管新設工事	
加東市 社地内	
位置図	1/11 全
縮尺 1/5000	11
加東市	

本設配管平面図(1) S=1/250

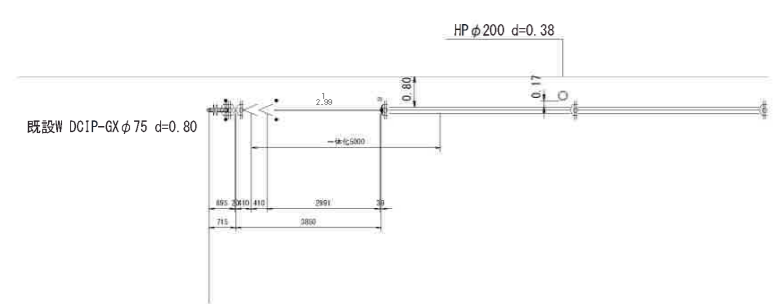


本設配管詳細図(1) S=NON

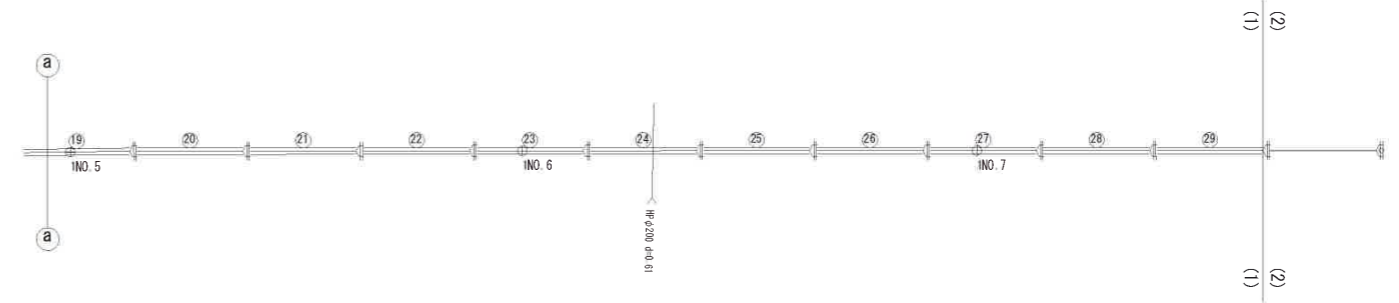
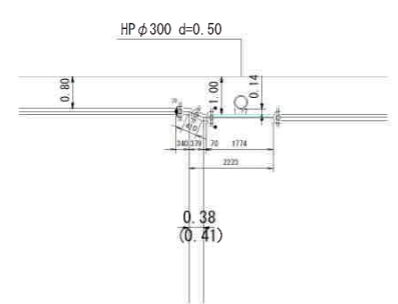
【PE二層管φ20分岐】	
【給水接合替えTYPE-1】	
数量	
PEツットφ20	1
PE二層管φ20	0.5
PE分止水栓ツットφ20	1
サドル分水栓DIP用φ150×φ20	1



1 断面図 S=1/100



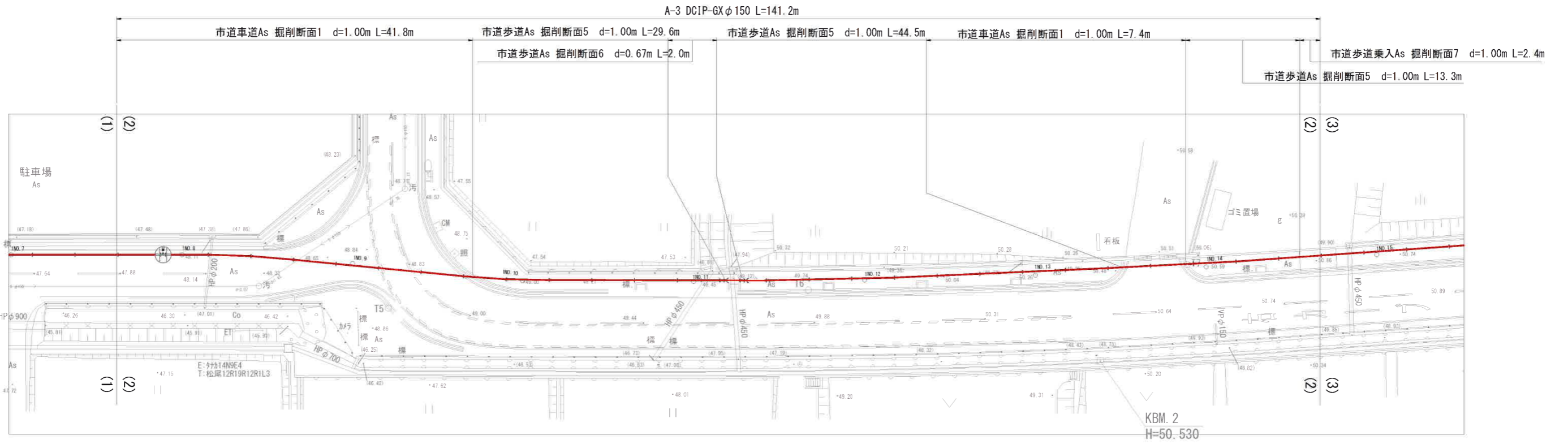
2 断面図 S=1/100



- 凡例
- GXライン無
 - GXライン有
 - G-Link
 - 挿し口突起あり

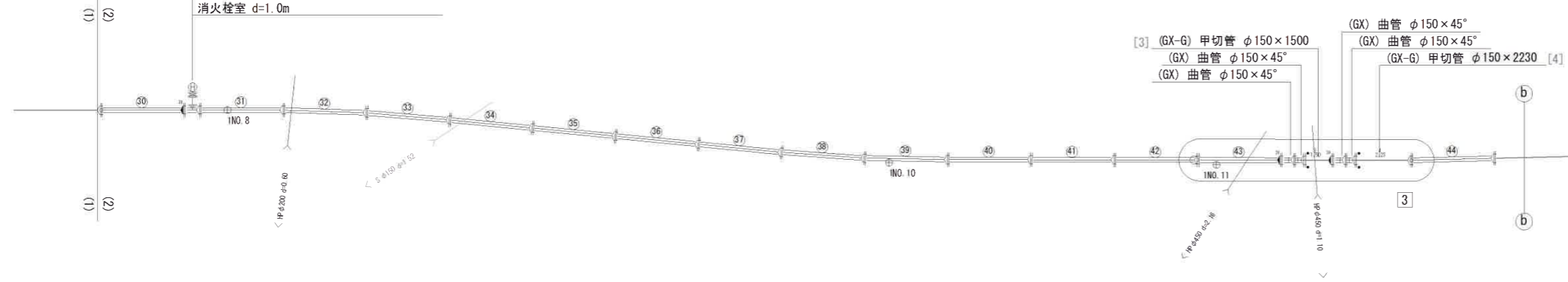
令和8年度 上水道事業	
市道社理状線 配水管新設工事	
加東市 社地内	
本設配管平面図(1)	2 業
本設配管詳細図(1)	
縮尺 1/250	11
加東市	

本設配管平面図(2) S=1/250

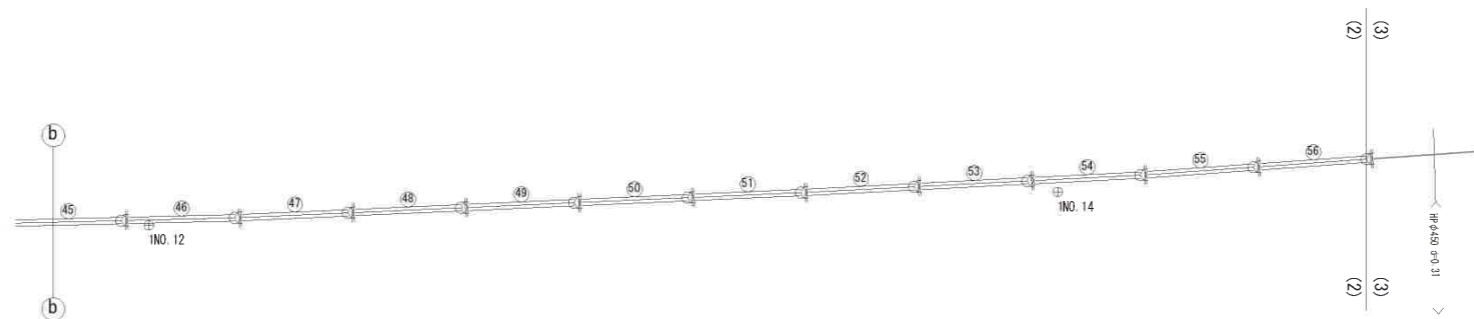
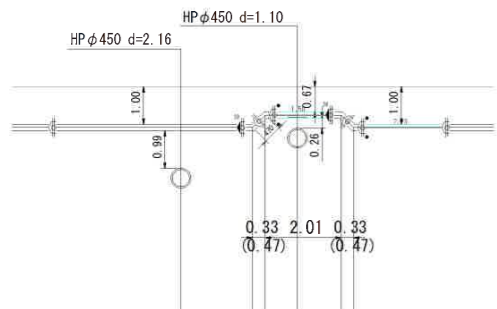


本設配管詳細図(2) S=NON

- 地下式単口消火栓 φ75
- ボール形補修弁(レバー式) φ75×100H
- DCIP フランジ 短管 φ75×300H
- DCIP-GX F付T字管 φ150×φ75(浅埋用)
- 消火栓室 d=1.0m



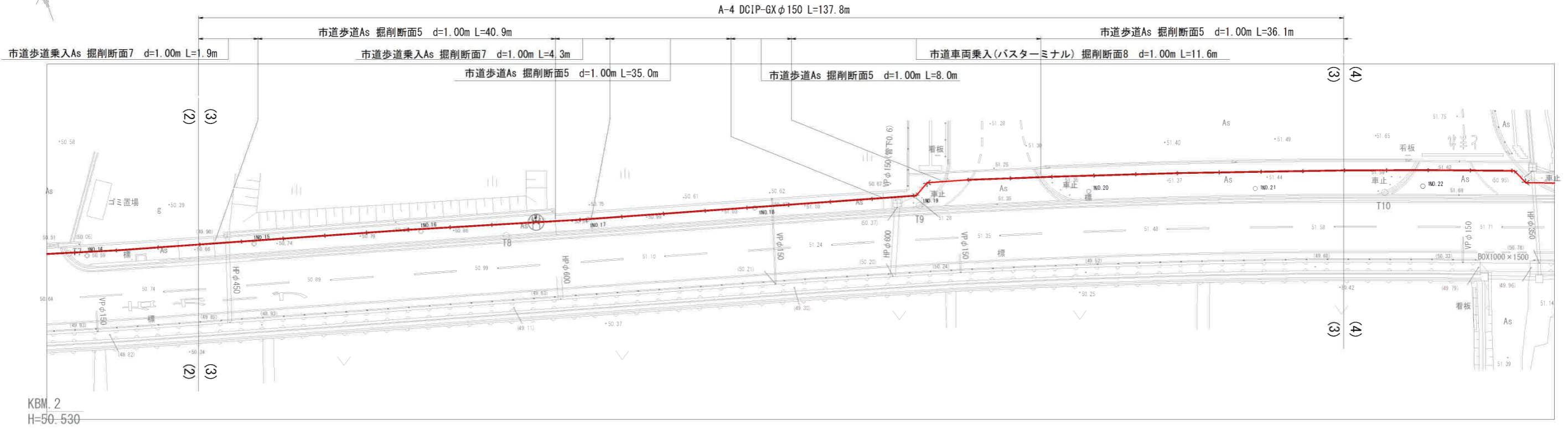
3 断面図 S=1/100



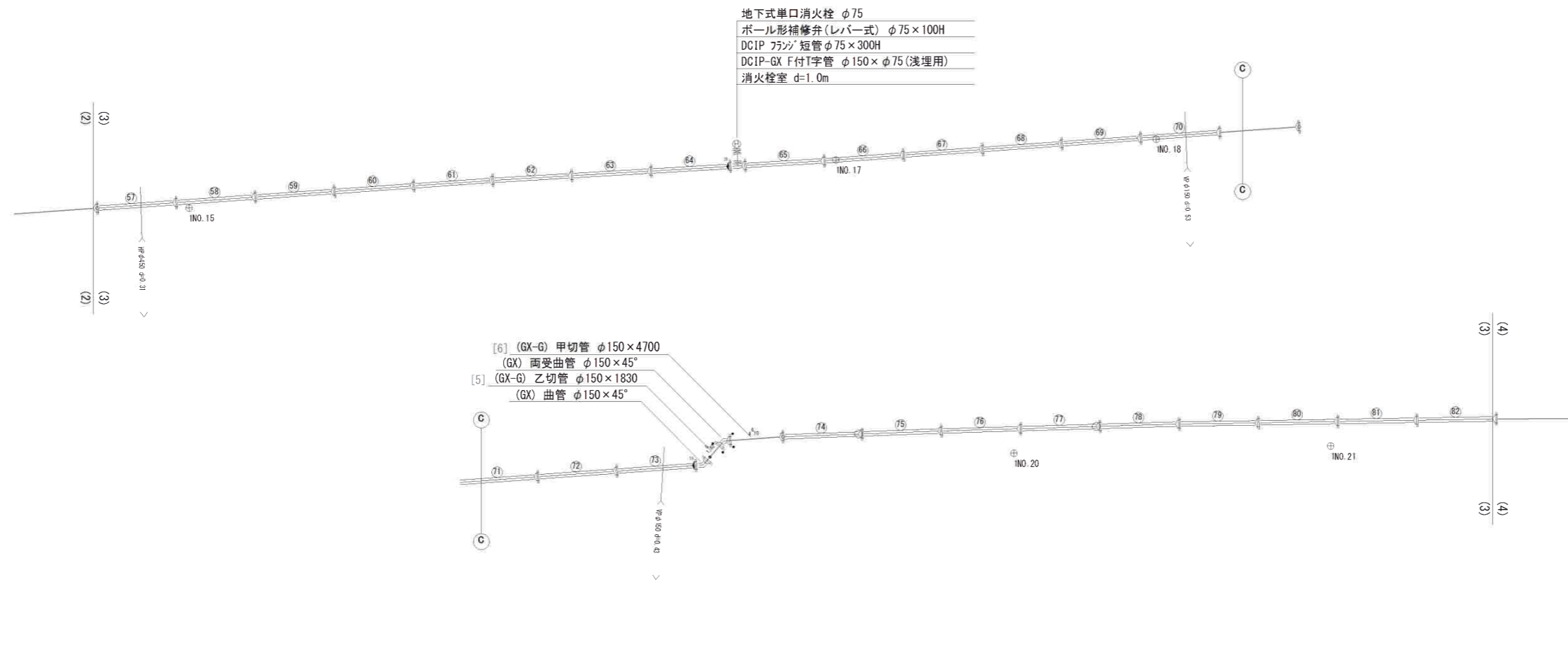
- 凡例
- GXライン無
 - GXライン有
 - G-Link
 - 挿し口突起あり

令和8年度 上水道事業	
市道社理状線 配水管新設工事	
加東市 社地内	
本設配管平面図(2) 本設配管詳細図(2)	3 業 11 全
縮尺 1/250	
加 東 市	

本設配管平面図(3) S=1/250

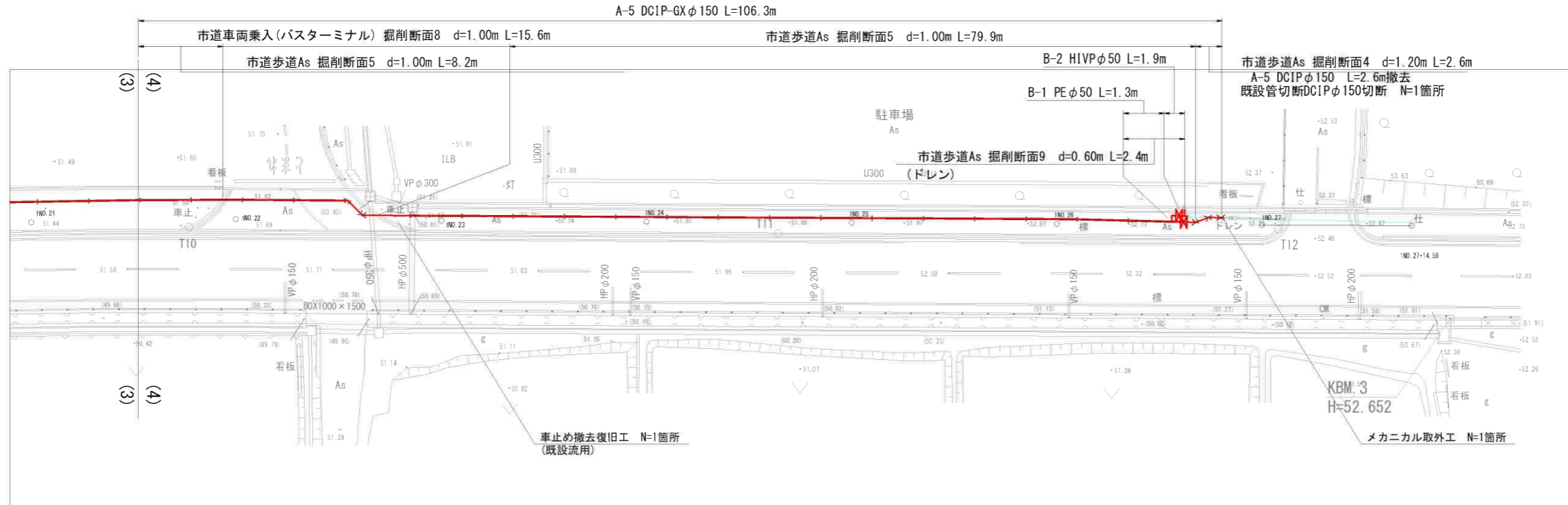


本設配管詳細図(3) S=NON



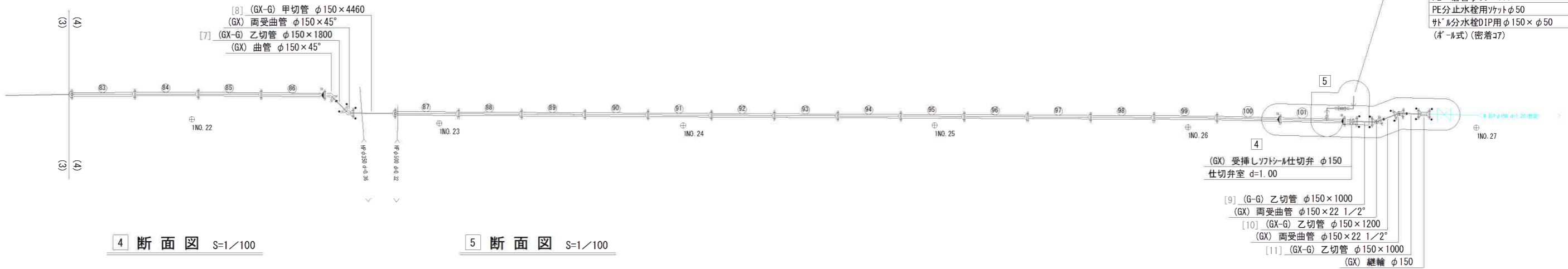
令和8年度 上水道事業	
市道社環状線 配水管新設工事	
加東市 社地内	
本設配管平面図(3)	4 業 11 全
本設配管詳細図(3)	
縮尺 1/250	
加 東 市	

本設配管平面図(4) S=1/250



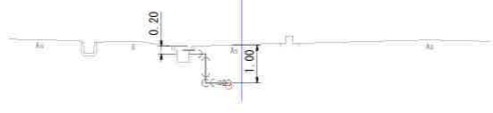
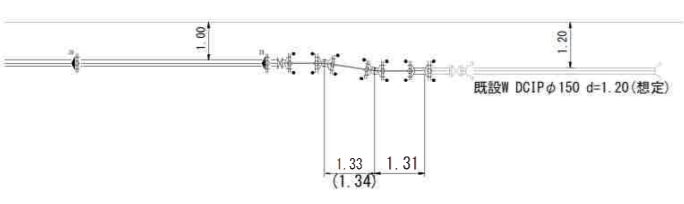
本設配管詳細図(4) S=NON

- HIVP-TS 切管 φ50×600
- HIVP-TS 90° エルボ φ50
- HIVP-TS 切管 φ50×770(立上り)
- HIVP-TS 90° エルボ φ50
- HIVP-TS 切管 φ50×550
- HIツケット φ50
- バレルソケット φ50
- スリースバルブ φ50
- 仕切弁室 d=1.00
- PEおねじツケット φ50
- PE二層管 φ50×700
- PE 90° エルボ φ50
- PE二層管 φ50×600
- PE分止水栓用ツケット φ50
- サドル分水栓DIP用 φ150×φ50 (ボール式)(密着7)



4 断面図 S=1/100

5 断面図 S=1/100

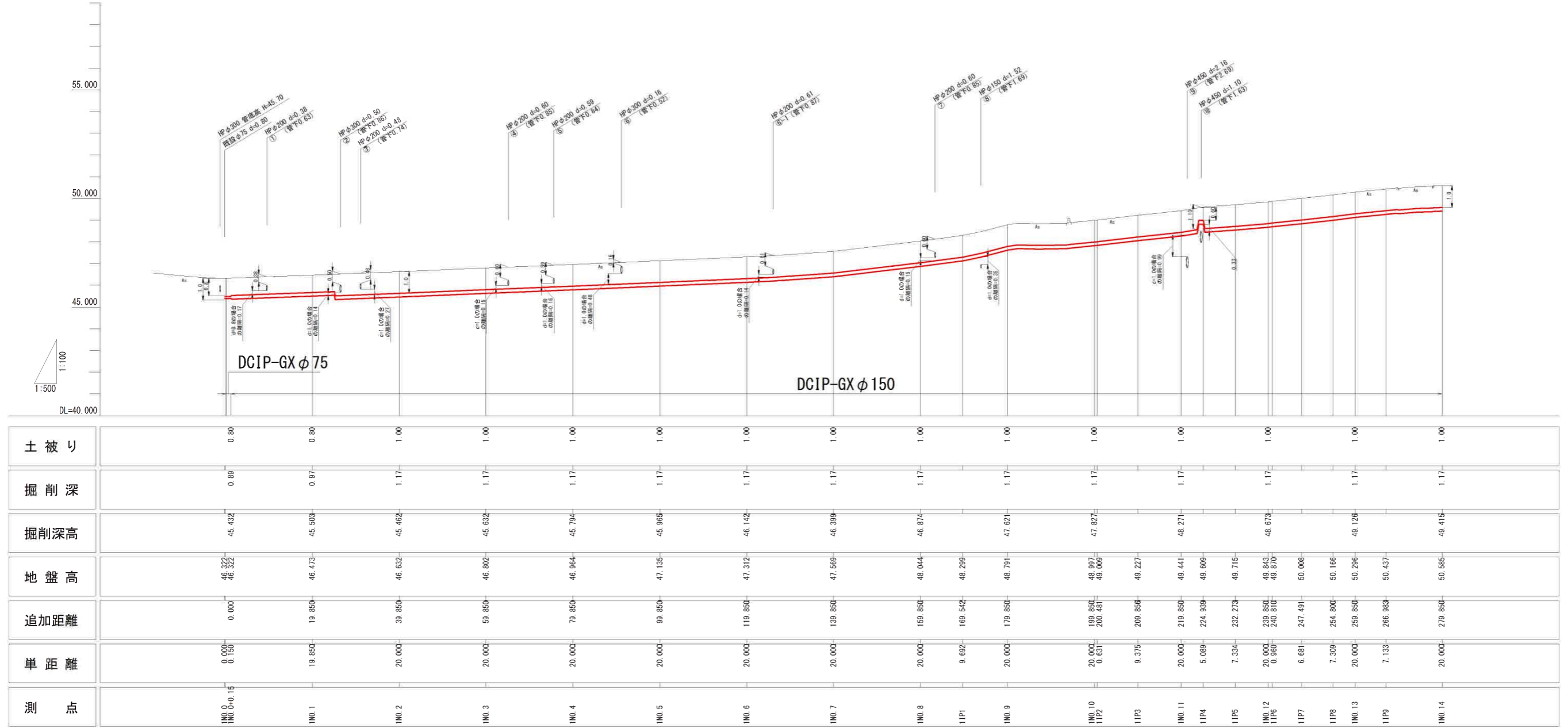


凡例

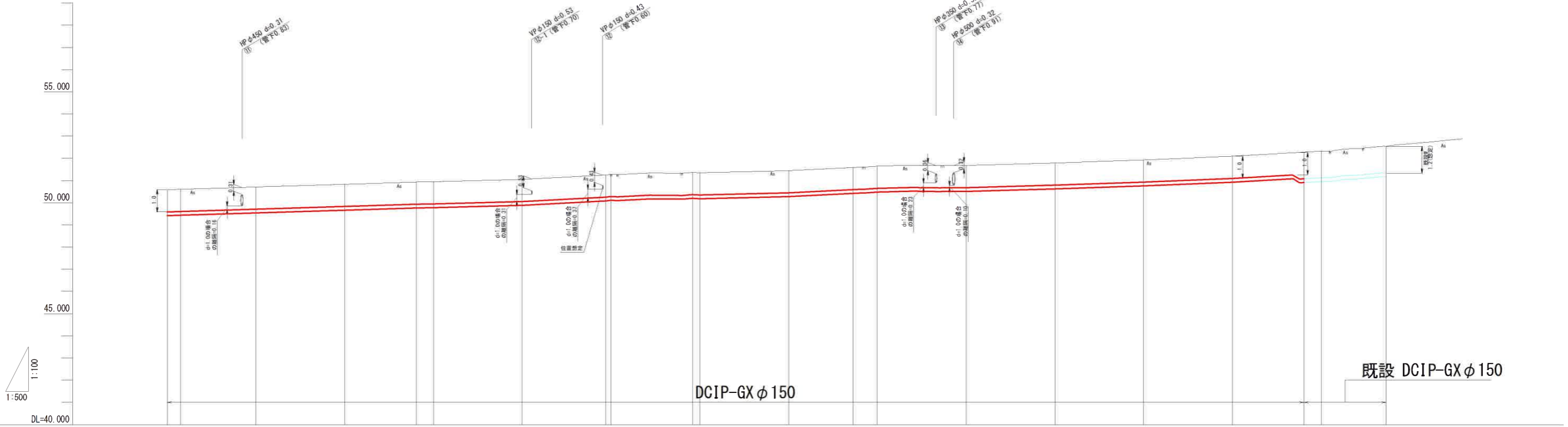
	GXライン無
	GXライン有
	G-Link
	挿し口突起あり

令和8年度 上水道事業	
市道社環状線 配水管新設工事	
加東市 社地内	
本設配管平面図(4)	5 業全
本設配管詳細図(4)	
縮尺 1/250	11
加東市	

縦断図(1) H=1/500
S=1/100
(H=1.00案)

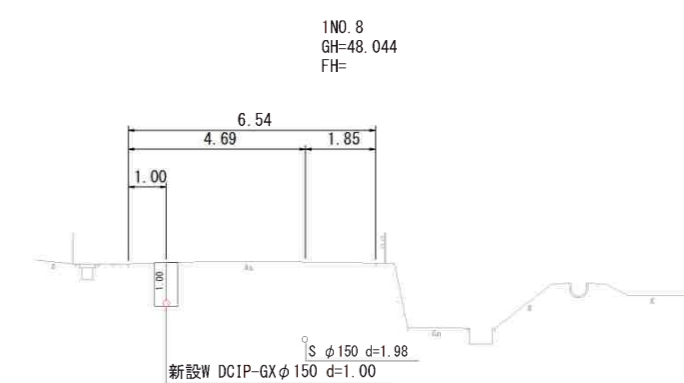
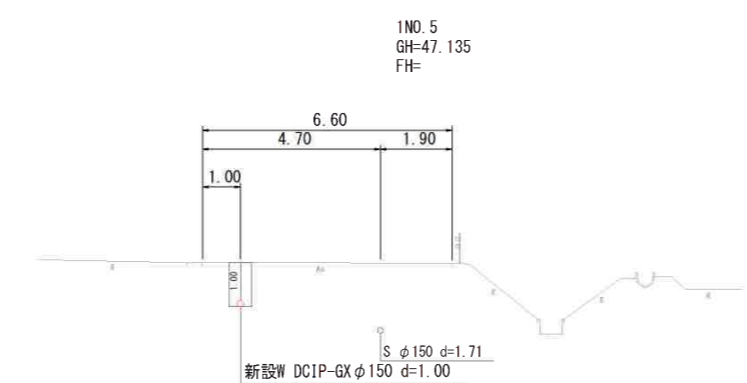
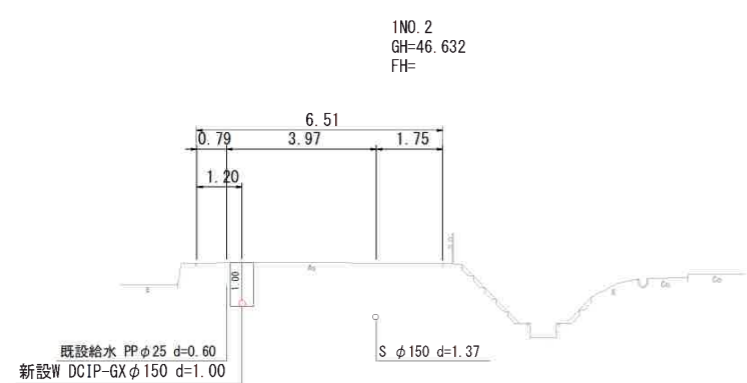
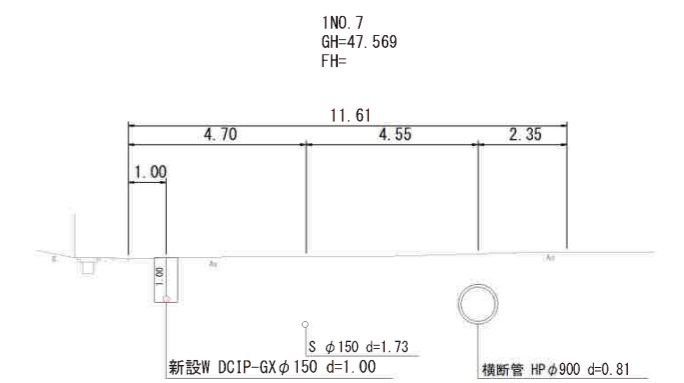
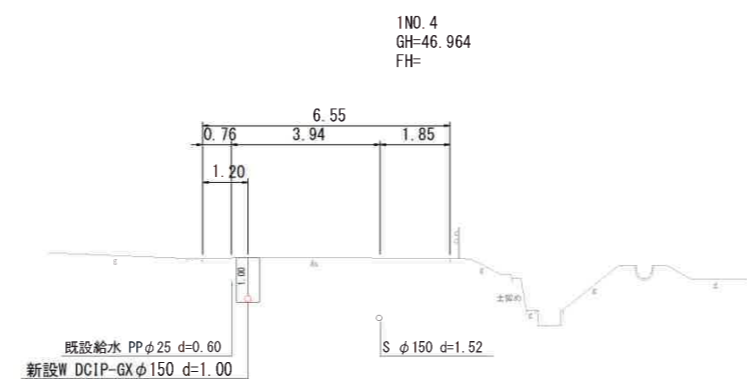
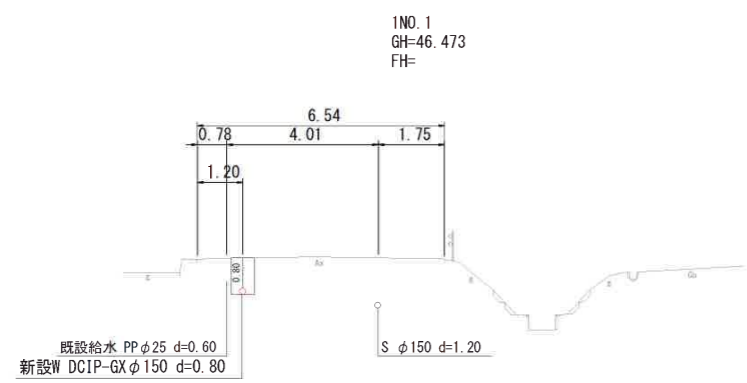
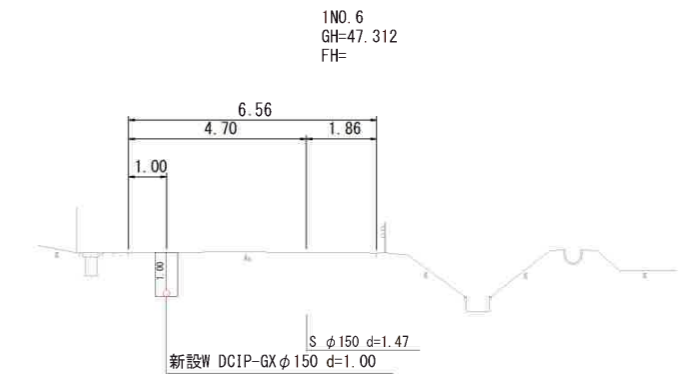
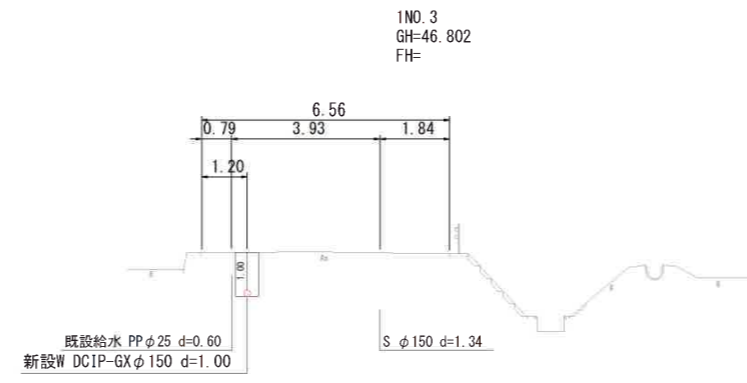
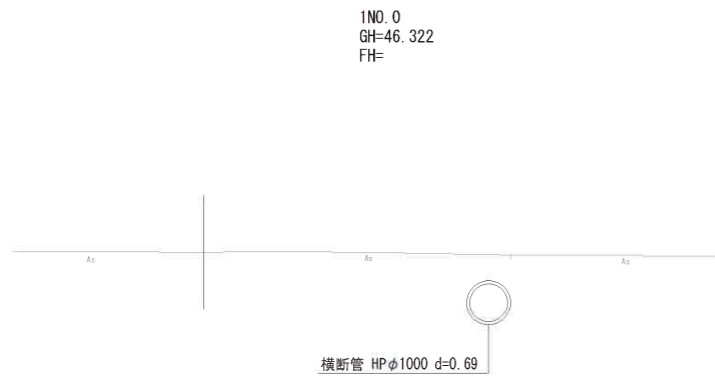


縦断図(2) H=1/500
S=1/100
(H=1.00案)



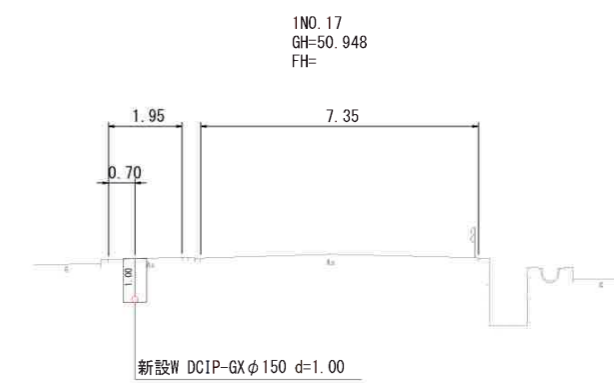
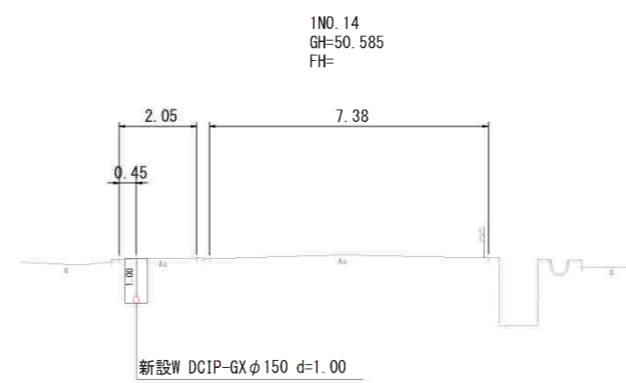
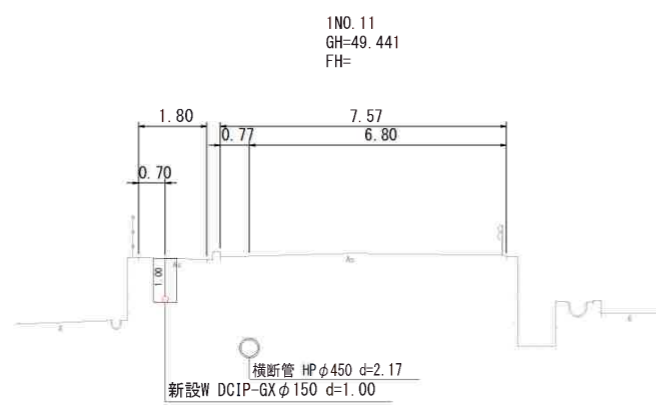
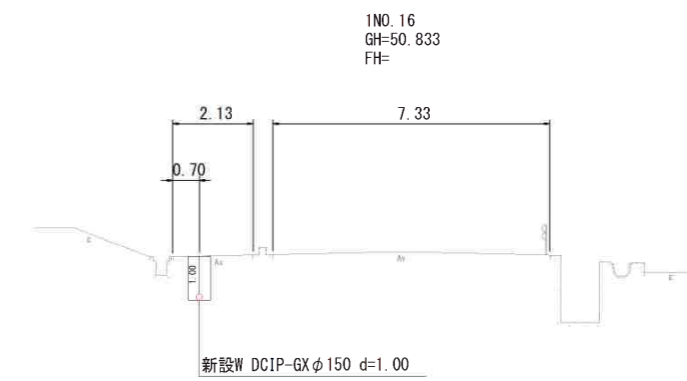
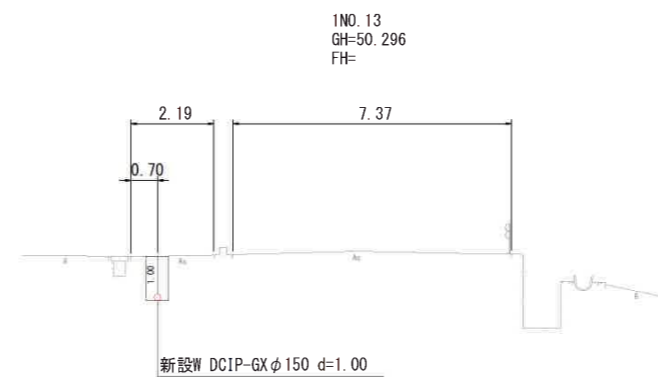
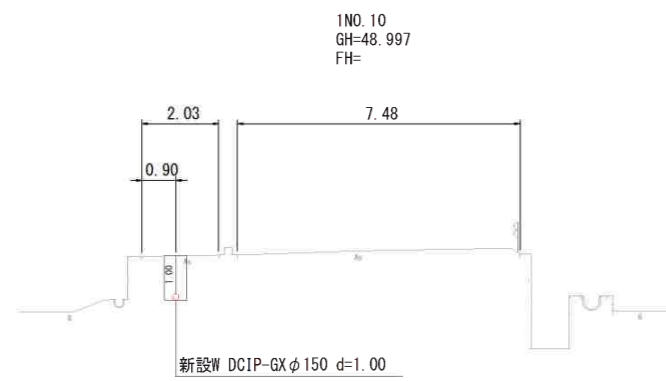
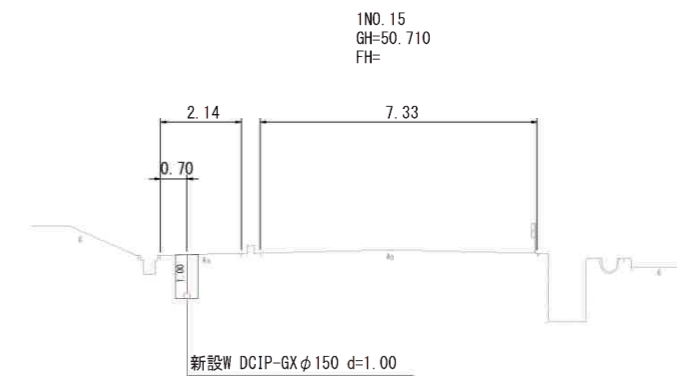
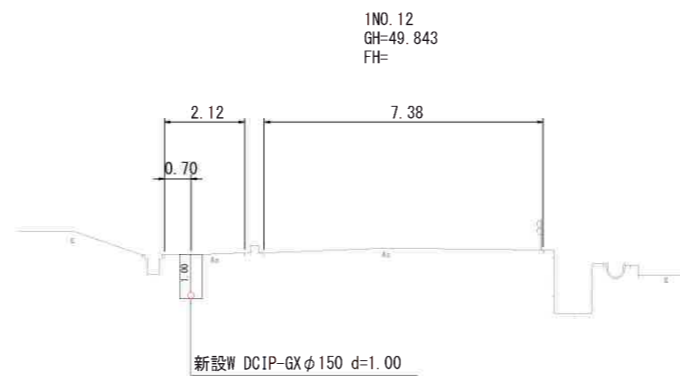
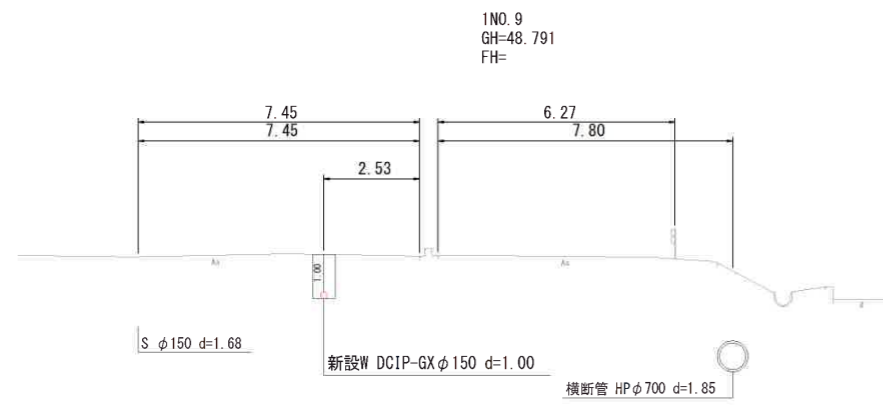
土被り	掘削深	掘削深高	地盤高	追加距離	単距離	測点
1.00	1.17	49.415	50.585	279.850	20.000	1N0.14
1.00	1.17	49.540	50.606	282.922	3.072	11P10
1.00	1.17	49.663	50.710	299.850	20.000	1N0.15
1.00	1.17	49.663	50.833	319.850	20.000	1N0.16
1.00	1.17	49.778	50.933	335.949	16.089	11P11
1.00	1.17	49.778	50.948	339.850	20.000	1N0.17
1.00	1.17	49.882	51.052	359.850	20.000	1N0.18
1.00	1.17	50.008	51.253	378.682	18.832	11P12
1.00	1.17	50.008	51.279	379.850	20.000	1N0.19
1.00	1.17	50.181	51.368	398.149	18.294	11P13
1.00	1.17	50.181	51.351	399.850	20.000	1N0.20
1.00	1.17	50.277	51.447	419.850	20.000	1N0.21
1.00	1.17	50.479	51.589	434.348	14.496	11P14
1.00	1.17	50.479	51.649	439.850	20.000	1N0.22
1.00	1.17	50.509	51.679	459.850	20.000	1N0.23
1.00	1.17	50.624	51.794	479.850	20.000	1N0.24
1.00	1.17	50.759	51.929	499.850	20.000	1N0.25
1.00	1.17	50.928	52.096	519.850	20.000	1N0.26
1.20	1.37	50.895	52.265	535.942	16.092	11P15
1.20	1.37	50.895	52.325	540.000	20.000	1N0.27
1.20	1.37	52.536	52.536	554.594	14.594	1EP

横断図(1) S=1/100



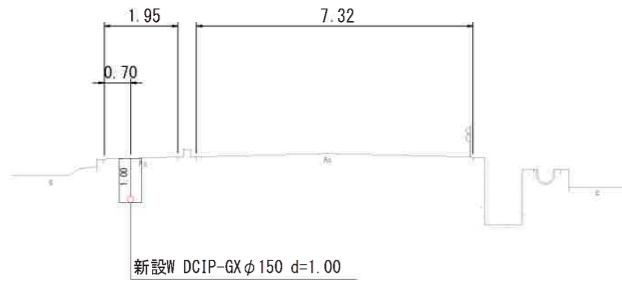
令和8年度 上水道事業	
市道社環状線 配水管新設工事	
加東市 社地内	
横断図(1)	8 / 11
縮尺 1/100	業全
加東市	

横断図(2) S=1/100

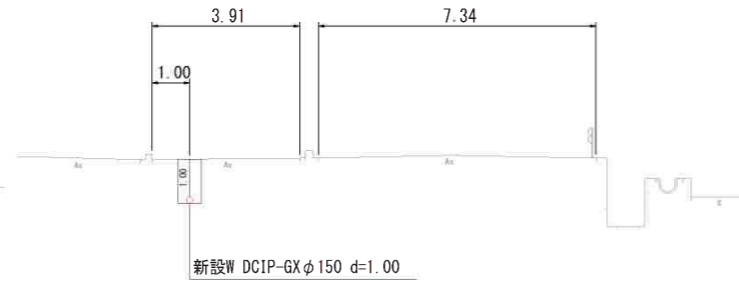


横断図(3) S=1/100

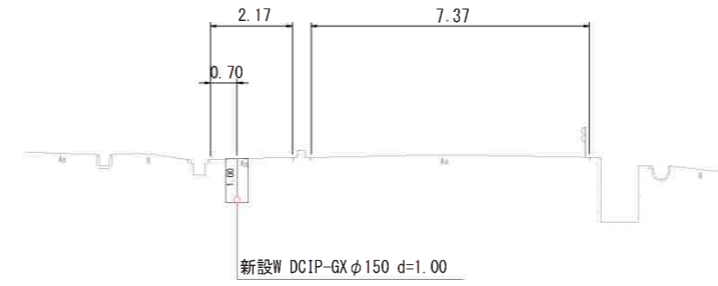
1NO. 18
GH=51.052
FH=



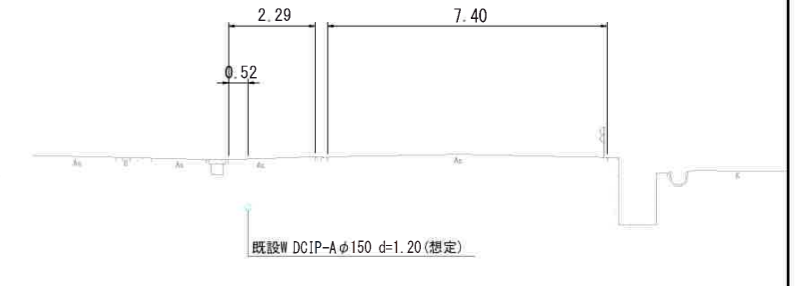
1NO. 21
GH=51.447
FH=



1NO. 24
GH=51.794
FH=



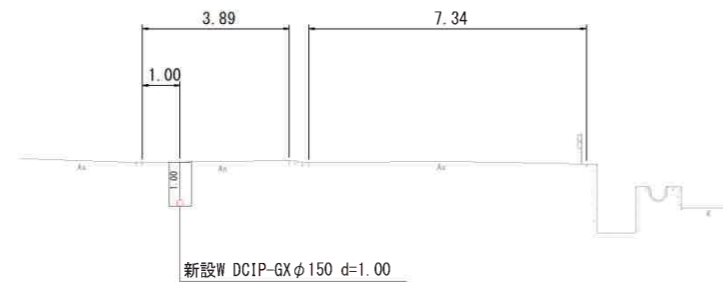
1NO. 27
GH=52.325
FH=



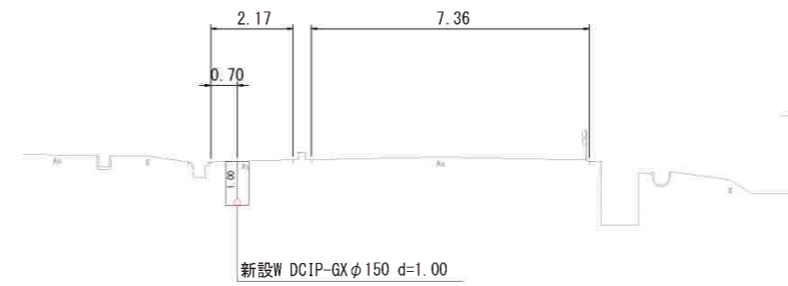
1NO. 19
GH=51.279
FH=



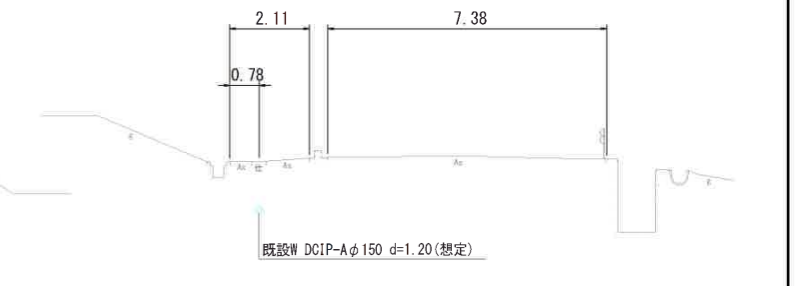
1NO. 22
GH=51.649
FH=



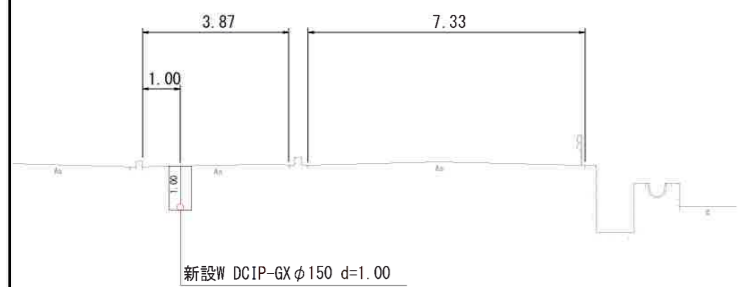
1NO. 25
GH=51.929
FH=



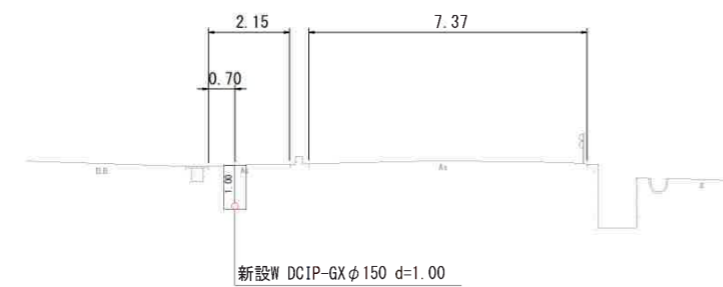
1NO. 27+14.59
GH=52.536
FH=



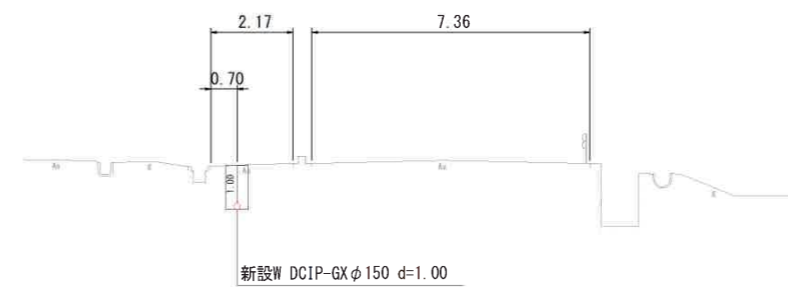
1NO. 20
GH=51.351
FH=



1NO. 23
GH=51.679
FH=



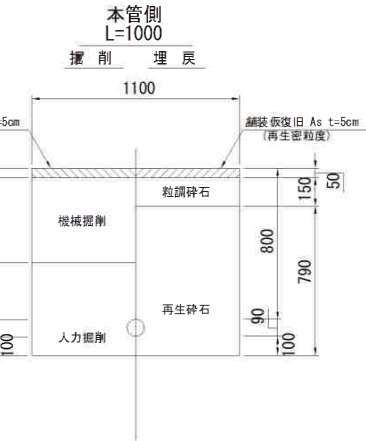
1NO. 26
GH=52.096
FH=



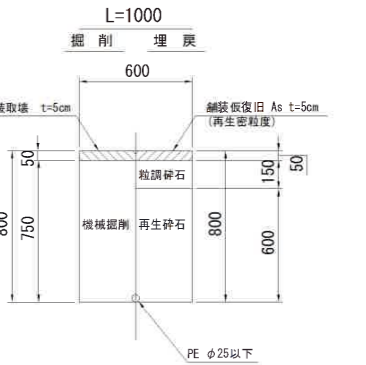
令和8年度 上水道事業	
市道社環状線 配水管新設工事	
加東市 社地内	
横断図(3)	10 業 全
縮尺 1/100	11
加 東 市	

掘削断面図 S=1/20

不断水断面A
As DCIPφ75 d=0.80
既設DCIPφ75不断水分岐土工
市道車道

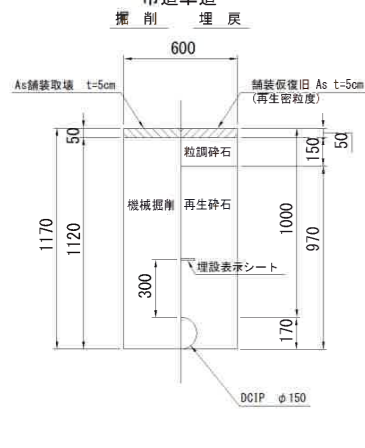


掘削断面11
As PEφ25以下 d=0.80
分水栓止め
市道車道(給水)

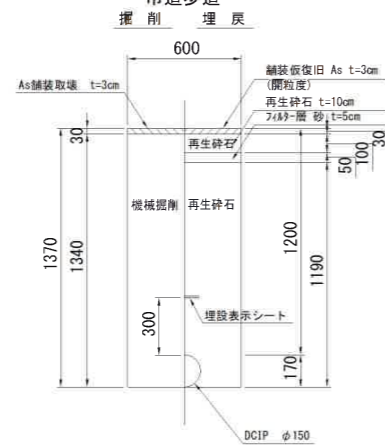


PEφ25以下

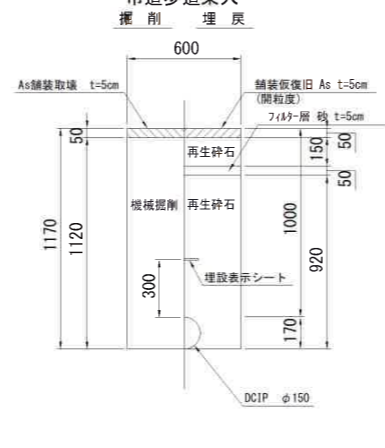
掘削断面1
As DCIPφ150 d=1.00
市道車道



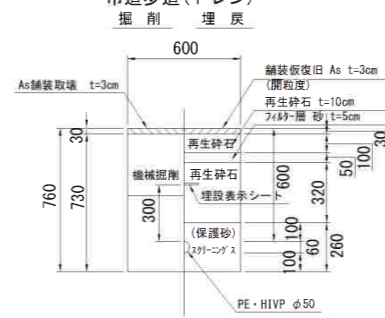
掘削断面4
As DCIPφ150 d=1.20
市道歩道



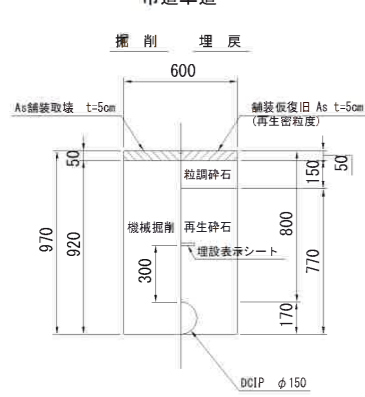
掘削断面7
As DCIPφ150 d=1.00
市道歩道乗入



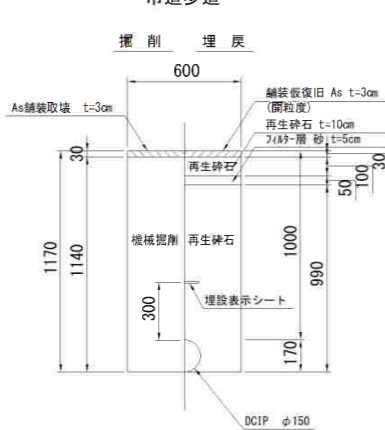
掘削断面9
As PE・HIVPφ50 d=0.60
市道歩道(ドレン)



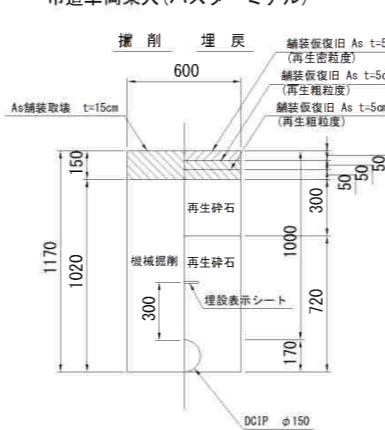
掘削断面2
As DCIPφ150 d=0.80
市道車道



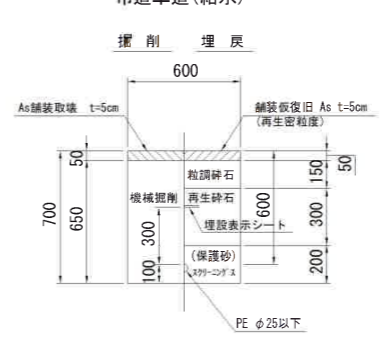
掘削断面5
As DCIPφ150 d=1.00
市道歩道



掘削断面8
As DCIPφ150 d=1.00
市道車両乗入(バスターミナル)

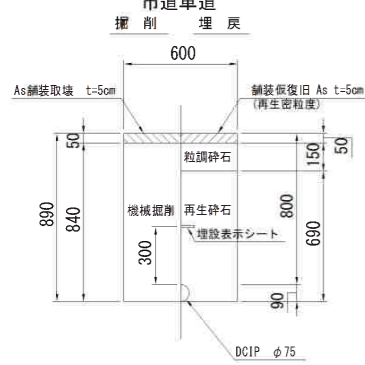


掘削断面10
As PEφ25以下 d=0.60
市道車道(給水)

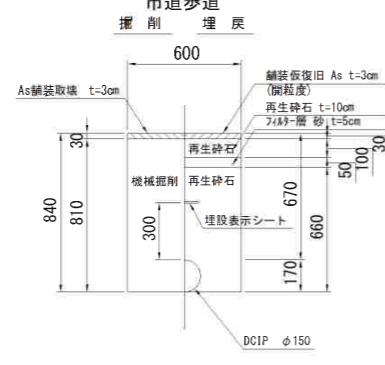


PEφ25以下

掘削断面3
As DCIPφ75 d=0.80
市道車道

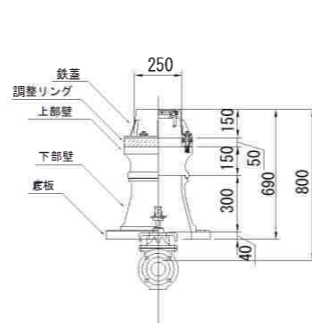


掘削断面6
As DCIPφ150 d=0.67
市道歩道

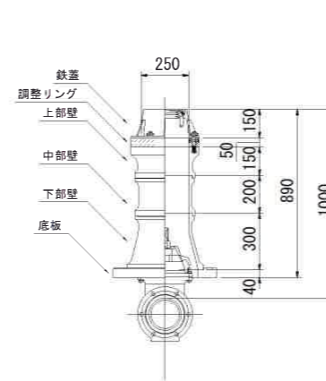


弁室標準図 S=1/20

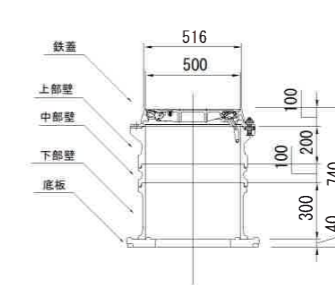
呼び径φ75mm
d=0.80 1号



呼び径φ150・φ50mm
d=1.00 1号



消火栓弁室
d=1.00 3号



凡例

粒調砕石 : M-30
再生砕石 : RC-40

令和8年度 上水道事業	
市道社環状線 配水管新設工事	
加東市 社地内	
掘削断面図 弁室標準図	11 / 業全
縮尺 1/20	11
加東市	

※市道歩道部は、透水性舗装とする

仕 様 書

第 1 章 総 則

第 1 条 (目 的)

この仕様書は、加東市が行う配管工事の施工の適正を期するため、監督員及び受注者が遵守しなければならない工事の仕様を示すことを目的とする。

第 2 条 (適 用)

この仕様書は、令和8年度 上水道事業 市道社環状線配水管新設工事の施工に適用する。

第 3 条 (用語の定義)

次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

1. 監督員 市長に代わって工事の施工を指示監督する職員のこと。
2. 指 示 監督員が受注者に工事の施工に関する方針、基準、計画等を示し実施させること。
3. 承 認 受注者が監督員に報告し、監督員が了解すること。
4. 協 議 監督員と受注者が協議すること。
5. 立会い 受注者が監督員に申し出て、監督員が現場に臨むこと。

第 4 条 (施工計画)

受注者は契約締結後、次の各号の手続を行うこと。

1. 工事着手は契約締結日の翌日とし、工事施工計画及び下請人等通知書、主任技術者等経歴書、請負代金内訳書、工程表を監督員に提出すること。なお、現場代理人と主任技術者は兼ねることができる。
2. 受注者は、工事着手前（契約書に定める工事着手日以降30日以内）に施工計画書を監督員に提出すること。
3. 工程表その他を変更するときは、その都度監督員に届け出て、監督員の指示に従うこと。

第 5 条 (受注者の負担)

受注者は、次の各号に要する軽微な費用について負担しなければならない。

1. 軽易な事項で設計図書又は本仕様書に明記していないことでも、施工上あるいは、使用上欠くことのできない材料及び作業の費用。
2. 施工上障害となる地下、地上の物件の取り除き、原形復旧又は保護設備の設置、工事により生じた不用物品の跡片付けに要する費用。
3. 各種試験検査及び工事写真、完成図面の作成等に要する費用。
4. 設計図に明示されなくとも必要な仮橋、仮道、仮水路、交通標識及び防災保安上必要な仮設備の設置並びに原形復旧に要する費用。
5. 道路で施工中の交通整理費及び道路維持に要する費用。
6. 工事用電力及び水道設備の設置費、撤去費並びに使用料金。
7. その他、受注者の責めに帰する事項に要する費用。

第 6 条 (使用材料)

1. 使用材料は、加東市の支給する材料を除き受注者が調達すること。なお、支給材料は所定の場所に運搬、保管し、残品は監督員の指示する場所に返納すること。

2. 受注者は、支給材料及び貸与品を慎重に取り扱い、破損や紛失したときは、監督員の指示に従い補修または賠償しなければならない。ただし、賠償の場合は現物弁償を原則とする。
3. 受注者が調達する配管材で上水道規格品については、日本水道協会検査員の検収済材料を使用すること。特殊製品については、性能立会検査を行い合格したものを使用する。また、管材料を工事に使用するときは、その都度、種類、員数、規格、品質等について、日本水道協会発行の検査済証を提出し、監督員の承認を受けること。
4. 使用材料の適用規格は次の規格とする。

J I S	J W W A	J E M	J E C	J C S
電気用品安全法	その他関係諸規格			

第 7 条 (工事現場管理)

1. 受注者は、現場代理人を工事現場に常駐させ、工事に関する一切の事項（労働関係法規、道路交通関係法規、公害防止関係法規、危険物取扱関係法規、電気設備技術基準、内線工事基準、土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課、令和 7 年 3 月）、消防法、その他工事施工上必要な法規）を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、諸法規の運用は、受注者の負担と責任において行われなければならない。
2. 受注者は、一般通行人が見やすい場所に工事名、工期、事業主体名、受注者の住所氏名並びに現場代理人の氏名を記入した大型の標示板を設置すること。特に道路に関する工事を行うときは、道路管理者、監督員及び所轄警察署と協議し、道路標識令、道路工事現場における標示施設等の設置基準（国道利第 3 7 号国道国防発 2 0 5 号改正、平成 1 8 年 3 月）及びその他の基準に基づき、柵、道路標識、危険標識、夜間赤色注意灯等を設置し、安全交通に必要な万全の処置を講じなければならない。
3. 受注者は監督員の指示により、作業方法、材料機器の搬入、盗難、火災予防の警備方法等について概略説明書を提出し、承認を得ること。
4. 受注者は監督員の指示により、工事施工によって生じた現場発生品を集積し、搬出し、場内を清潔にするとともに、適切な防火、防災対策を講じなければならない。
5. 受注者は、工事中又は引渡し完了までの仮設備、材料並びに機器の盗難、火災、破損等の被害に備え十分に警備をすること。
6. 受注者は、工事現場が隣接し又は同一場所において別途工事がある場合は、常に相互協調して紛争を起こさないよう処置しなければならない。
7. 受注者は、工事施工中、監督員の許可なく流水及び水陸交通の妨害となる行為又は公衆に迷惑を及ぼす施工等をしてはならない。
8. 受注者は、市街地における工事は、建設工事公衆災害防止対策要綱（土木工事編）（国土交通省 令和元年 9 月）に準拠して災害の防止に努めなければならない。
9. 豪雨、出水、その他天災に対しては、平素から気象予報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をしておかななければならない。
10. 火薬、ガソリン、電気等の危険物を使用する場合には、その保管及び取扱いに

ついて、関係法令の定めるところに従い、万全の方策を講じなければならない。
なお、火薬類を使用し工事を施工するときは、あらかじめ監督員の承認を得ること。

- 1 1. 工事施工について住民の生活、営業に支障を及ぼすおそれがあるときは、近隣住民と協議の上、支障のないように工法及び使用機器を検討し、監督員の承認を得て施工すること。
- 1 2. 受注者は、工事の施工に影響を及ぼす事故、人命に損傷を生じた事故、又は第三者に損害を与えた事故が発生したときは、遅滞なくその状況を監督員に報告しなければならない。なお、危険防止の設備を怠って生じた事故に対しては、受注者の責任で処置すること。
- 1 3. 受注者は、工事用運搬路として道路を使用するときは、常に良好な状態に保持するよう努めなければならない。

第 8 条（既設物の保護）

1. 工事の施工に支障を及ぼす地上、地下の既設物等は、監督員の承認を得て丁寧に取り除き、又は保護を施し、工事の進捗にともない速やかに原形復旧すること。
2. 詳細が不明な既設埋設管（ガス管、水道管、下水道管、電気ケーブル、電話ケーブル等）に対しては試験掘を行い、埋設管の位置及び深さを確認の上、必要に応じて保護工等を施すこと。なお、試験掘に先立ち関係機関等に立会いを求め、立会者から指示があった場合はこれに従うこと。また、ガス管付近の掘削を行う場合は、ガス漏等の有無を確認すること。

第 9 条（官公庁及び関係機関への手続）

1. 受注者は、工事施工のため必要な官公庁及び関係機関に対する諸手続（交通制限許可申請書、道路使用許可申請書、仮設物設置許可申請書、移転、移設物申請書並びに各種使用届等必要な書類一式の作成）を行って許可を得るものとし、書類の様式については監督員の指示を受けること。
2. 道路管理者に提出する着工届、完工届は監督員の指示により受注者が作成し、道路等掘削埋戻土の使用、転圧、工事中の状況、舗装復旧及び工事完成の状況がわかる写真を添付すること。
3. 受注者は、関係官公庁その他に対して交渉を要するとき又は交渉を受けたときは、遅滞なくその旨を監督員に申し出て協議すること。

第 10 条（作業時間）

1. 工事の作業時間は、各種規定、許可及び監督員の指示による。ただし、緊急を要する場合は、監督員と協議の上、承認を得て延長すること。
2. 工事施工中、監督員から作業時間の延長又は夜間作業を指示された場合、受注者はこれに応じなければならない。

第 11 条（工事の変更及び中止）

1. 監督員が必要と認める場合は、工事の内容を変更し、若しくは一時中止を指示する。
2. 受注者は、工事に支障を及ぼす天候、その他正当な理由により工期内に工事を完成することができないときは、その理由を付して工期の延長を求めることができる。

第12条（施工管理）

1. 受注者は、兵庫県土木工事施工管理基準などを用いて施工管理を行い、その記録を監督員に提出しなければならない。
2. 受注者は監督員の指示により、必要事項を記入した監督日誌を指示のあった日の翌日までに提出しなければならない。

第13条（施工検査）

1. 受注者は、監督員が指示した主要な工事及び工事完成検査の困難な工事については、施工順序に従って、段階ごとに検査員の検査を受けて合格した後、次の施工に着手しなければならない。
2. 支持力検査、材料検査等の諸検査は、原則として監督員立会いで受注者が行い、その結果表をすみやかに監督員に提出し、承認を受けなければならない。
3. 検査に合格した材料でも、使用前又は使用中に不良を発見したときは、監督員の指示により処置すること。

第14条（提出書類）

受注者は、次の関係書類を監督員に提出しなければならない。

1. 工事写真

- (1) 工事写真を整理編集し、監督員が随時点検できるようにするとともに、工事完成の際に提出する。
- (2) 撮影は次のものと、監督員が特に指示するものとする。
 - ア 着工前の敷地の状況及び隣接建物の状況。
 - イ 工事中、工事の進捗状況並びに工場製作のものは製作の進行状況。
 - ウ 工事完成写真、内外主要箇所。
 - エ 管類等埋設深度、位置及び埋設状況を示すもの。（約100m間隔に撮影現場を示す対象物を入れたもの。）

2. 工事完成図面（製本A1）

工事完成図面を作成し、工事完成届に添えて1部提出する。また、前記のCADデータ（SXF形式）も併せて提出すること。

第15条（仕様の疑義）

工事施工にあたり図面と現場との状態が一致しないとき又は予期することのできない状態を発見したときは、遅滞なく監督員に知らせ指示を受けること。なお、処理については協議により決定する。

第16条（検査）

1. 工事完成検査は、工事目的物が設計図書に適合しているかを検査員が確認するものとし、これに合格しないときは、遅滞なく補修又は改造をして、再度検査員の検査を受けること。
2. 官公庁及び電力会社等の検査を受ける必要があるときは、受注者がすべての手続を代行するものとし、あらかじめ監督員の承認を受けること。

第17条（特許権等の使用）

受注者は、工事施工にあたり特許権、その他第三者の権利対象となる機器、施工方法等を使用するときは、その使用に関する全ての責任を負うこと。

第18条（契約不適合責任）

工事完成検査後の契約不適合責任は、契約書によるものとし、道路不陸、漏水

(通水後)、その他は1箇年、主要構造物、機器等は2箇年とする。

第19条 (跡片付け)

受注者は、工事が完成したときは、跡埋め、跡片付け及び清掃等を工事期間内に完了しなければならない。

第20条 (その他)

1. 本特記仕様書および土木請負工事必携・土木工事共通仕様書・土木工事施工管理基準に記載のない事項及び疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。
2. 完成図書は、監督員の指定するイージーキャビネットに入れて提出すること。

第2章 管布設工

第1条 (適用)

管布設工は、(公社)日本水道協会発行の水道施設設計指針2024と本仕様書により施工すること。

第2条 (配水管の明示)

1. 配水管の明示は、以下の方法で施工すること。
2. ビニールシートを管上30cmに埋設する。
3. ビニールテープ(粘着剤付)を管に一回半巻きする。
4. 巻付け方法
 - (1) 管長4メートル以下 3箇所/本 管の両端から15~20cm及び中間に1箇所。
 - (2) 管長5~6メートル 4箇所/本 管の両端から15~20cm及び中間に2箇所。
 - (3) 特殊管で(1)(2)に該当しない場合はテープの間隔が2メートル以上にならないようにすること。
 - (4) 異形管の場合は受口、サシ口部の端から20cmの所に巻付けること。
5. 弁栓類部分については明示しない。
6. 明示に使用するビニールテープ及びビニールシートについては監督員の指示するものを使用すること。

第3条 (配管工)

管の接合に従事する配管工は、(公社)日水協兵庫支部に定める試験に合格した配管工でなければならない。ただし、監督員が特に認めたものについてはこの限りではない。

第4条 (材料検査)

受注者は、調達管材の検査済証(日本水道協会の発行したもの)を材料使用承認願に添付して提出し、監督員の承認を受けること。

第5条 (掘削)

1. 掘削にあたっては、あらかじめ保安設備、土留、排水、覆工、残土処理、その他の必要な準備を整えた上で着手すること。
2. アスファルトコンクリート舗装、コンクリート舗装の切断は、舗装切断機等を使用して切口を直線に施工すること。また、取壊しに当たっては、在来舗装部分が粗雑にならないように行うこと。

3. 舗装切断を施工する場合は、保安設備、保安要員等を適切に配置し、交通上の安全を確保すること。

第 6 条 (埋戻し・復旧)

1. 管の埋戻しは、厚さ 20 cm 毎に締固機で十分締め固め、復旧するとともに、軟弱地盤又は湧水地帯にあっては、湧水及び溜水を排除しながら埋め戻しを行うこと。
2. 工事のための交通制限に起因して掘削箇所以外の道路が損傷した場合は、監督員の指示により直ちに復旧すること。

第 7 条 (弁栓鉄蓋等の据付)

仕切弁、空気弁、消火栓等の鉄蓋は、管方向又は流末方向に文字を直角に据付けるものとする。

ドレン部仕切弁の鉄蓋は、排泥弁と明記すること。

第 3 章 管の接合

第 1 条 (管の据付)

管の据付けは、監督員の指示に従い鋳出文字を上向に、その方向にならい中心を一致させ、さし口を受口に充分はめ込むものとする。

第 2 条 (メカニカルジョイント)

メカニカルジョイントによって接合する場合は、次の順序により接合するものとする。

1. さし口端から 20 cm の間の外面及び受口内面に付着している油、砂、その他の異物を完全に除去すること。
2. 次にこの部分にメーカー指定の滑剤をぬる。
3. さし口を受口内に押し入れる。
4. つづいてゴム輪に滑剤をぬり、さし口にはめる。
5. さし口を受口内に押し入れる。
6. ゴム輪を受口内へ片寄らないように押入れる。
7. 押輪を固定し、ボルトを入れナットで固く締め付ける。

この際、スパナ又はラチェットレンチでまず下のナットを締め次に横の片方という順序で交互に締め押輪面と受口面との間隔がどこまでも等間隔となるよう締め、一気に締め上げずに根気よく (5～6 回にわたりゴム輪が均等に入るよう注意しながら) 全体を徐々に締め付けていき最後に規定のトルクまで締め付けなければならない。

8. 完全なる接合ができない場合には、無限に締め付けずに一度とりはずしてやりなおすものとする。
9. 規定のトルクまで締め付けが終わった後、全部のナットが規定のトルクに達しているかどうかを改めて順次確認すること。

第 3 条 (フランジ接合)

フランジ継手によって接合する場合は、次の方法によるものとする。

1. 接合部分の鋳ばり、コブ等がある場合はこれをけずり油、砂、その他の異物を完全に除去すること。
2. ゴムガスケットは充分の大きさのものをを用い油、砂、その他の異物を完全に除去するものとする。

3. ゴムガスケットを定位置にはさみボルトを入れナットを締め付ける。なお、フランジの間隔がいずれの部分においても等間隔になるよう締め付けるものとする。

第 4 条 (硬質塩化ビニール管)

T S 接合

- (1) 水道用硬質塩化ビニール管の接合は、すべて T・S 工法 (冷間接合) により、切断は、管軸に対して直角方向とし、目の細かい鋸で切断し切屑や返りをのぞくため内外面の面取りをするものとする。
- (2) 継手の受口内面とパイプを差し込む外面を乾いたウエスで清浄にし、ごみや油が付着しているときは、完全に除去するものとする。
- (3) 接着剤を塗る前にパイプをかるく継手の中に挿入しパイプの挿入深度を確認したのち引抜いて継手の内面全体と差し込み部 (φ75m/m の場合 72m/m, φ100m/m の場合は 92m/m, φ150m/m の場合は 140m/m の割合) に薄く均一に塗るものとする。
- (4) 接着剤を塗り終わるとすばやく差し込み規定の深さまで挿入した後、そのままの状態ですばやく 10～20 秒間保持し、はみ出した接着剤はすぐふき取るものとする。

第 5 条 (G X 形ダクタイル鉄管)

1. 管の据付

管のメーカーマークを上にして、管を所定の位置に静かに吊り下ろす。

2. 管の清掃

受口溝の異物を取り除き、挿し口外面の端面から約 30cm の間及び受口内面に付着している油、砂、滑剤、その他の異物をきれいに取り除くこと。また、ゴム輪の当たり面に付着した水もふき取ること。

3. ロックリング及びロックリングホルダの確認

ロックリング及びロックリングホルダはあらかじめセットされている。所定の受口溝にロックリング及びロックリングホルダが正常な状態にあるか目視及び手で触って確認する。

4. ゴム輪のセット

- (1) ゴム輪の表示が G X 形用であること及び呼び径を必ず確認する。
- (2) ゴム輪を清掃し、ヒール部を手前にして受口内面におさめる。その後、ヒール部と受口の間に隙間ができないようゴム輪を上部に寄せる。その後、へこみを手やプラスチックハンマなどで押しながら受口内面の所定の位置に装着する。
- (3) ゴム輪装着後プラスチックハンマでゴム輪を受口内面になじませるようにたたく。さらに、ゴム輪内面を指で触り、部分的な浮き上がりが無いことを確認する。

5. 滑剤の塗布

- (1) 滑剤は、ダクタイル鉄管継手用滑剤を使用する。
- (2) ゴム輪の内面テーパ部及び挿し口外面に滑剤をムラなく塗布する。

第 6 条 (水道用ポリエチレン二層管)

1. 冷間接合 A 形

- (1) 管の端面を肉厚の 1/3 程度面取りする。
- (2) 袋ナットを胴からはずれない範囲でいっぱい緩め、インコアを管に挿入する。
- (3) 管の端面部付近の外表面を水でぬらし、管端が胴のストッパーに当るまで挿入し、袋ナットを十分に手で締め付ける。
- (4) パイプレンチ 2 個を使い、袋ナットを 2 回転だけ締め付ける。

2. 冷間接合 B 形

- (1) 管端を直角に切り揃える。
- (2) 継手を分解し、管に袋ナット、リングの順に移し、インコアを管に木槌等で叩きこむ。
- (3) セットされた管端を胴に挿入し、リングを押し込みながら袋ナットを本体ねじに十分に手で締め付ける。
- (4) パイプレンチ 2 個を使って十分に締め付ける。

第 7 条 (サドル分水栓)

1. サドル分水栓建込は水圧試験合格後に行うこと。
2. サドル分水栓に接合する給水管は、既設給水管 (PE 管) と内外径 (J I S 規格) が同じものを使用すること。

第 4 章 週休 2 日制度について

1. 本工事は原則週休 2 日 (土曜・日曜) を確実に取得できるよう工事を実施する「週休 2 日制度」の対象工事である。(受注者は契約後、週休 2 日を反映した施工計画書を提出する。) 建設業へ入職しやすい環境整備のため週休 2 日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し施工計画を作成するなどの取り組みを行う。
2. 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は 1 ヶ月あたり 2 日を上限として土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休 2 日 (同一週内での週休 2 日) または月単位の週休 2 日が認められる状態になるよう振り替えること。
3. 毎月、監督員に翌月の現場閉所日を記載した「休日取得計画」を提出すること。
4. 現場閉所日の振替を行う場合、工事打合簿により、その理由と振り替える日を事前に監督員に連絡すること。
5. 毎月、監督員に前月の現場閉所の状況を「休日取得実績報告書」により報告すること。
6. 現場稼働中の工期〔工事着手前 (現場測量等)、年末年始休暇 6 日間、夏期休暇 3 日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休 2 日 (完全週休 2 日 (土日) または月単位の週休 2 日) の達成状況 (平日振替日を含む) の確認のため受注者は「工事履行報告書」を提出すること。

7. 労務費等の補正については当初予定価格に完全週休2日（土日）を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況が完全週休2日（土日）に満たないものは、月単位の週休2日の補正係数に変更し、請負代金を減額変更する。また、月単位の週休2日に満たないものは完全週休2日の補正係数を除し請負代金を減額変更する。

8. 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内勤業務や他の現場に従事することを制限しない。ただし専任のものである場合、他の現場に従事しないこと。

9. 受注者は週休2日制度から週休2日制度（交代制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上変更することができる。ただし工事着手後の変更は認めない。

10. 下請け企業に対し週休2日の取り組みにあたり必要な事項について協力を求めること。

11. 受注者は週休2日制度対象工事であることを工事看板に明記すること。

《週休2日制度の達成状況》

現場閉所日数（平日振替日を含む）を現場稼働中の土曜・日曜の全日数で除し小数点以下を四捨五入する。

〈労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正〉

	補正係数	
	土日現場閉所	
	完全週休2日	月単位
労務費	1.02	1.02
機械経費（賃料）	-	-
共通仮設費率	1.02	1.01
現場管理費率	1.03	1.02

第 1 条 (総 則)

本工事の施工に当たっては、設計図書によるほか、「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「土木請負工事必携」、「小型構造物標準図集」(全て兵庫県土木部)、本仕様書によらなければならない。

第 2 条 (工事概要)

本工事は、加東市社地内の新設管路を布設することを目的とする。

第 3 条 (工事範囲)

本工事は、配水管の布設、給水管の切替え、仕切弁、空気弁及び消火栓の設置を行うものである。

第 4 条 (管布設工事)

本工事場所において、地下埋設物が隣接している箇所では十分な事前調査(試掘調査など)を行い、工事に着手すること。

第 5 条 (建設副産物の搬出)

本工事から発生する特定建設廃棄物のうち、As 殻は、大林道路(株)東条アスファルト混合所(兵庫県加東市天神1228-39)への搬出を見込んでいる。ただし、上記施設に関する所在地は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。また、運搬に先立ち受入条件などを確認し、監督員に報告すること。

第 6 条 (建設発生土の搬出)

本工事の建設発生土(土砂)は、(株)池安(加東市久米1017-7)への搬出を見込んでいる。ただし、上記施設に関する所在地は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。また、運搬に先立ち受入条件などを確認し、督員に報告すること。なお、加東市が行う他工事に流用するため、監督員から搬出先の指示があった場合はこれに従うものとし、設計変更の対象とする。

第 7 条 (舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理)

(1) 濁水等の適正処理

舗装の切断作業に伴い発生する濁水等は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、下表の分類により、適正に処理すること。

表 産業廃棄物の分類

区分 \ 工法	濁水が生じる工法(湿式)	濁水が生じない工法(空冷式 等)
排出形態	濁水※1	紛体
産業廃棄物の分類	「汚泥」、含まれる成分によっては、「汚泥+廃アルカリ混合物」(※1乾燥させた場合も同様)	「がれき類」※2 (※2政令市等[神戸・尼崎・西宮・明石・姫路]以外における取扱い。政令市等における分類は異なる場合があるため、別途当該市の環境部局に確認のこと)

(2) 濁水が生じる工法での処理方法等

濁水が生じる工法(湿式)を採用する場合は、産業廃棄物の「汚泥」または「汚泥+廃アルカリ混合物」として適正に処理すること。収集・運搬・処理方法は下記

①～③のとおりとする。

① 収集方法

以下の収集方法等により、直接現場外に排水することなく、適正に収集すること。なお、これらの方法は指定ではなく、各現場にて適正に収集することが可能な方法で収集すること。

<収集方法(例)>

- ・濁水を収集する機能を有するカッター機械(バキューム式)による収集
- ・工事用掃除機による収集
- ・濁水をスポンジ等で吸着させバケツ等に移し替えて収集 等

② 運搬方法

収集した濁水は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の運搬の基準に従い、適正に処理すること。

③ 処理方法

収集した濁水は、産業廃棄物の「汚泥」として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に某つき適正に処理すること。

なお、収集した濁水に含まれる成分によっては、産業廃棄物の「廃アルカリ」との混合物に分類される可能性があるため、処理の際には十分注意すること。また、pH12.5以上の場合は「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となるので十分注意すること。

「廃アルカリ」や「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となった場合には、その処理方法を監督員と協議の上、適正に処理するものとし、その際に必要となる経費については、設計変更の対象とする。

(3) 濁水が生じない工法での処理方法等

濁水が生じない工法(空冷式等)を採用する場合は、収集にあたり吸引装置を併用するなど、粉塵の飛散防止対策を行うとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物の「がれき類」として適正に処理すること。

(4) 当初設計における濁水処理費

当初設計においては、濁水処理費を以下のとおり計上している。①濁水量は実施数量(マニフェストで確認)に応じて設計変更を行う。

①濁水量 1.7t (8,000円/t)

②運搬費 普通トラック (2) t 運搬

③処理施設

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所在地	受入等諸条件	その他
「汚泥」	(株) タケベ	11.9 km	兵庫県西脇市上比延町 41-1	土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に記載の当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表は、積算参加条件を明示しているものであり、受人施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困

難となった場合は、設計変更を行う。

その他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

第 8 条（交通誘導員の配置）

本工事の施工に際しては、交通誘導員 B を 99 人計上しており、配置場所等については監督員と協議するものとする。なお、作業中は通行止め及び片側交互通行を予定している。

交通誘導員 A：警備業者の警備員（警備業法第 2 条第 4 項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導員警備業務（警備員等の検定等に関する規則第 1 条第 4 号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員

交通誘導員 B：警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの

第 9 条（バスターミナルの施工条件）

本工事の施工に際しては、バスターミナルは通行止めできないので出入口のバリケード及び警備員、配置場所等については監督員と協議するものとする。なお、作業中は通行止めできないので出入口の変更などを考慮すること。

第 10 条（その他）

1. 設計図書に記載なきもの及び不明確な事項については、監督員と協議を行い、指示により施工すること。
2. 工事看板は下図を標準とするが、図案が完成した際、事前に監督員に確認を取り、了承を得てから作成し、設置すること。

